



静岡県富士山世界遺産センター
MT. FUJI WORLD HERITAGE CENTRE, SHIZUOKA

MT. FUJI WORLD HERITAGE CENTRE, SHIZUOKA
静岡県富士山世界遺産センター



静岡県富士山世界遺産センター
年報 2017.12-2019.3

● 目 次 ●

| | |
|---------------------------|----|
| 館長挨拶 | 1 |
| 1 概 要 | |
| 1-1 沿 革 | 2 |
| 1-2 写真で見る2017.12-2019.3 | 8 |
| 2 活動状況 | |
| 2-1 深く究める | |
| 2-1-1 巡礼路調査 | 15 |
| 2-1-2 研究活動 | 19 |
| 2-1-3 資料収集 | 24 |
| 2-2 楽しく伝える | |
| 2-2-1 企画展 | 25 |
| 2-2-2 アトリウム展示活動 | 33 |
| 2-2-3 教育旅行受入実績 | 34 |
| 2-2-4 富士山世界文化遺産出前講座 | 36 |
| 2-2-5 館内講座 | 41 |
| 2-2-6 世界遺産セミナー | 43 |
| 2-2-7 世界遺産ニュースレター | 45 |
| 2-2-8 ホームページおよびFacebook紹介 | 47 |
| 2-3 広く交わる | |
| 2-3-1 国際シンポジウム | 48 |
| 2-3-2 視察受入 | 50 |
| 2-4 永く守る | |
| 2-4-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成 | 51 |
| 2-4-2 サポートボランティア制度 | 52 |
| 3 施設・組織・予算 | |
| 3-1 センター施設概要 | 53 |
| 3-2 職員紹介 | 55 |
| 3-3 予算概要 | 57 |
| 4 資 料 | |
| 4-1 入館者数データ | 58 |
| 4-2 2017年度・2018年度の休館日 | 58 |
| 4-3 報道実績 | 59 |
| 4-4 来館者アンケート結果 | 62 |
| 4-5 施設管理条例・規則 | 64 |

館長挨拶

年報の発行にあたって

静岡県富士山世界遺産センターが開館し、1年8ヶ月が経ちました。この間、約76万人の来館者をお迎えすることができました。当センターでは、世界文化遺産としての富士山のもつ普遍的な価値を、信仰、芸術にとどまらず、自然や生態系を含む総合的な角度から、研究し、展示し、広報するなどの活動を行なっております。

思えば、日本の宝である「富士山」が、世界文化遺産として登録されたのは2013年6月でしたが、それまでには長い諸準備期間がありました。その中で当センターの設立にかかわる部分に限って述べてみますと、一方で世界遺産化への作業を進めながら、並行して2011年からは、川勝平太知事のリーダーシップにより、このセンターの基本構想を練る委員会が発足しました。委員長には、当時、県立美術館長であった芳賀徹先生が、美術評論家の高階秀爾先生と私が副委員長をつとめさせていただきました。2012年3月にこのセンターの基本構想が策定されました。

その後も設置場所の選定など担当者の努力が続き、2014年3月には、設計プロポーザルにより、設計者が坂茂氏に決定されました。決定の直後に、同氏が建築界のノーベル賞とも言われる「プリツカー賞」を受賞されたことは関係者の喜びとするところでした。

しかし、その独創的なデザインを具現化するまでに、計画の一部見直し作業や、なかなか施工者が決定できないなど、建築工事の着手は2016年3月まで待つこととなりました。この間の関係の皆様のご努力は、大変なものであったと推察いたします。

構想の策定から5年と9ヶ月、2017年12月23日に当センターは開館する事ができました。奇しくも、富士山がとりもつ御縁からか、私が初代の館長を拝命することとなりました。

御代も平成から令和に変わり行く中、これからはセンターの歩みを年報として残していくことにいたしました。日本が辿ってきた長い歴史を越えて今も変わらず日本人が心を寄せ、その崇高な美しさにあこがれる富士山。現在、センターでは、その「富士山」を「守る、伝える、交わる、究める」の4種の事業を、様々なかたちで展開しております。

センターの今までの取組を年報という形で残すことで、富士山という大きな存在の持つ意義を、次の時代に繋いでいくことの一助になれば、幸いです。

2019年9月

静岡県富士山世界遺産センター
館長 遠山 敦子



1 概要

1-1 沿革

● 静岡県富士山世界遺産センター整備の経緯

| | |
|----------|------------------------------------|
| 2011年10月 | 基本構想策定委員会を設置 |
| 2012年3月 | 基本構想を策定 |
| 2012年11月 | 基本計画策定アドバイザーを設置 |
| 2013年3月 | 基本計画を策定 |
| 2013年6月 | 世界文化遺産登録決定 |
| 2013年8月 | 建設地を富士宮市宮町に決定 |
| 2014年1月 | 設計プロポーザルを公告 |
| 2014年3月 | 設計者を(株)坂茂設計事務所へ決定 展示基本計画を策定 |
| 2015年3月 | 実施設計完了 全体事業費40億円を議会承認 |
| 2015年4月 | 建設工事一般競争入札を公告 |
| 2015年6月 | 建設工事一般競争入札が不調 |
| 2015年12月 | 全体事業費の3億円の増額について 議会承認（総事業費43億円） |
| 2016年1月 | 再入札の告示 |
| 2016年2月 | 再入札の落札 |
| 2016年3月 | 建築工事着手 |
| 2017年2月 | 2017年12月23日開館を公表 |
| 2017年7月 | 建築工事完成 |
| 2017年10月 | 設置管理条例議決 展示工事完成 |
| 2017年12月 | 12月22日開館記念式典開催 12月23日開館 |
| 2018年2月 | 入館者10万人達成 |
| 2018年3月 | シアター新番組「地の巻」上映開始 |
| 2018年7月 | 入館者30万人達成 |
| 2018年12月 | 入館者50万人達成 |
| 2019年1月 | 3階「育む山」展示リニューアル |
| 2019年3月 | シアター新番組「宙の巻」上映開始 |

● 世界遺産センター整備に係る検討経緯

2011年、世界文化遺産への登録を見据え、富士山に係る包括的な保存管理の拠点とするとともに、富士山の自然、歴史・文化に加え周辺観光等の情報提供を行うなど、訪れる多くの人々のニーズに対応する拠点として、富士山世界遺産センターを整備することとし、基本構想、基本計画の策定に着手した。

1 概要

| | |
|--------|--|
| 2011年度 | 基本構想策定（2012年3月） |
| 2012年度 | 基本計画策定（2013年3月） |
| 2013年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・建設地の決定（2013年8月） ・展示基本計画策定（2014年3月） ・建物及び展示に係る基本・実施設計（2013年度、2014年度債務負担） |

2 基本構想の策定（2011年度）

有識者から成る「富士山世界遺産センター（仮称）基本構想策定委員会」を設置し、4回の委員会を経て、2012年3月に基本構想を策定した。

（1）基本構想の構成

| 章 | 項目 | 内容 |
|-----|------------|---------------------------------------|
| 第1章 | 整備の意義 | 世界遺産条約及び静岡県総合計画等の位置付け |
| 第2章 | 基本コンセプト | 「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」「深く究める」の4つのコンセプト |
| 第3章 | 機能の方向性 | センターが担うべき機能等 |
| 第4章 | 施設整備の方向性 | 施設の立地条件等 |
| 第5章 | 管理運営の方向性 | 運営形態や組織等 |
| 第6章 | 実現に向けての進め方 | 開館までの工程等 |

（2）基本構想策定委員会開催実績

| | 開催日 | 内容 |
|-----|------------|---------|
| 第1回 | 2011年10月4日 | 基本構想の構成 |

| | 開 催 日 | 内 容 |
|-------|--------------|-------------------------|
| 第 2 回 | 2011年11月 7 日 | 構成資産及び富士山周辺の案内学習施設等現地視察 |
| 第 3 回 | 2011年12月20日 | 基本構想骨子案について |
| 第 4 回 | 2012年 3 月13日 | 基本構想案について |

(3) 基本構想策定委員会委員一覧

| 区分 | 氏 名 | 役 職 等 |
|------|-------|--|
| 顧 問 | 梅原 猛 | 国際日本文化研究センター顧問 富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり リーディング・アドバイザー最高顧問 |
| 委員長 | 芳賀 徹 | 静岡県博物館協会会長 静岡県立美術館館長 |
| 副委員長 | 高階 秀爾 | 富士山世界文化遺産二県学術委員会副委員長 大原美術館館長 |
| 副委員長 | 遠山 敦子 | 富士山世界文化遺産二県学術委員会委員長 公益財団法人トヨタ財団理事長 |
| 委 員 | 伊東 豊雄 | 建築家 株式会社伊東豊雄建築設計事務所代表取締役 |
| 委 員 | 岩槻 邦男 | 兵庫県立人と自然の博物館館長 東京大学名誉教授 |
| 委 員 | 岡野 光喜 | 日本富士山協会会長 スルガ銀行株式会社社長 |
| 委 員 | 奥島 孝康 | NPO法人 富士山クラブ理事長 早稲田大学名誉教授 |
| 委 員 | 工藤 夕貴 | 女優 ふじのくに静岡特使 |
| 委 員 | 隈 研吾 | 建築家 東京大学教授 |
| 委 員 | 田部井淳子 | 登山家 NPO法人日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト代表 |
| 委 員 | 土 隆一 | 富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員長 ふじさんネットワーク会長 |
| 委 員 | 間宮 忠敏 | 前日本政府観光局 (JNTO) 理事長 |

| 区分 | 氏名 | 役職等 |
|----|------------|---|
| 委員 | マリ・クリスティーヌ | 異文化コミュニケーター 国連ハビタット親善大使 |
| 委員 | 安田 喜憲 | 富士山世界文化遺産静岡県学術委員会副委員長 国際日本文化研究センター教授 |

(五十音順敬称略、役職名当時)

3 基本計画策定（2012年度）

基本構想策定委員会の委員長及び副委員長を「富士山世界遺産センター（仮称）基本計画策定アドバイザー」として委嘱し、指導や助言を受け、事業活動や諸室構成、展示内容等を検討した基本計画を策定した。

(1) 基本計画の構成

| 章 | 項目 | 内容 |
|-----|---------|------------------------------------|
| 第1章 | 基本的な考え方 | 富士山の顕著な普遍的価値、センターの位置付け、基本コンセプト、機能等 |
| 第2章 | 事業活動計画 | 基本コンセプト及び機能に基づく事業活動内容等 |
| 第3章 | 展示計画 | 展示内容、展示構成等 |
| 第4章 | 施設計画 | 諸室構成、建設地選定基準等 |
| 第5章 | 管理運営計画 | 運営形態、運営組織等 |

(2) 基本計画策定アドバイザー会議開催実績

| | 開催日 | 内容 |
|-----|-------------|-------------------------|
| 第1回 | 2012年11月20日 | 基本計画の構成、整備の考え方等 |
| 第2回 | 2013年2月4日 | 構成資産及び富士山周辺の案内学習施設等現地視察 |
| 第3回 | 2013年3月28日 | 基本計画案（事業活動計画等）、建設地の選定 |

(3) 基本計画策定アドバイザー

| 氏名 | 役職等 |
|-------|--|
| 高階 秀爾 | 富士山世界文化遺産二県学術委員会副委員長 大原美術館館長 |
| 遠山 敦子 | 富士山世界文化遺産二県学術委員会委員長 公益財団法人トヨタ財団理事長 |
| 芳賀 徹 | 静岡県博物館協会会長 静岡県立美術館館長 |
| 安田 喜憲 | 富士山世界文化遺産静岡県学術委員会副委員長 富士山世界遺産推進担当参与 |

(五十音順 役職名当時)

● 基本コンセプト及び機能

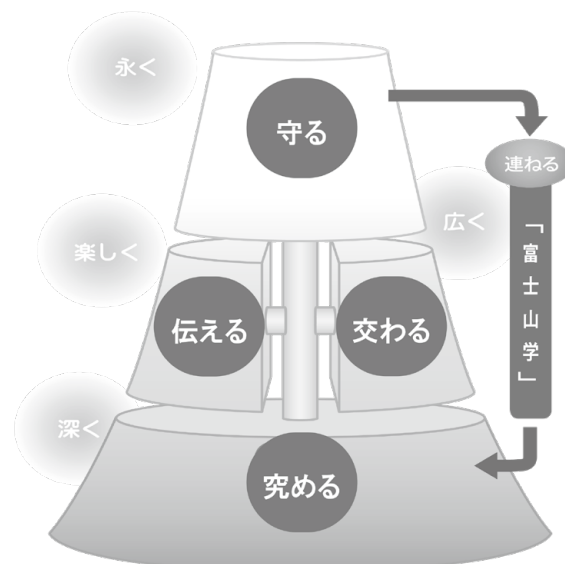
静岡県富士山世界遺産センターは、世界遺産条約第5条(e)の趣旨に則り、富士山が持つ顕著な普遍的価値を次世代に継承し、「永く守る」拠点施設として整備された。

富士山を「永く守る」ためには、資産を適切に保護・管理するとともに、多くの人々が世界文化遺産としての富士山の価値について理解を深めることが必要となる。

そのため、富士山を「永く守る」活動に加え、富士山の価値を「楽しく伝える」活動やセンターの活動を通じて人々が「広く交わる」機会を創出する活動を展開する。さらに、これら「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」の活動内容を奥深いものとするため、富士山の自然や歴史、文化等を「深く究める」活動を展開する。

また、他の研究機関等と連携した「深く究める」活動の成果及びセンターの諸活動を「連ねる」ことで、「富士山学」を体系化し、世界文化遺産「富士山」の価値を探究する活動を継続して実施する。

<基本コンセプト及び機能概念図>



1-2 写真で見る2017.12-2019.3

静岡県富士山世界遺産センター開館記念式典
2017.12.22



記念行事

来館1万人達成記念 2017.12.28



来館10万人達成記念 2018.2.22



来館30万人達成記念 2018.7.2



来館50万人達成記念 2018.12.1



静岡県富士山世界遺産センター開館1周年記念コンサート 2018.12.14



館内講座



館内イベント



静岡県富士山世界遺産センター企画展

第1回企画展（開館記念展）

富士山の曼荼羅～参詣曼荼羅にみる富士山信仰の世界～

会期：2017年12月23日～2018年2月12日



第2回企画展

「富士山の日」記念 秀景ふるさと富士写真展

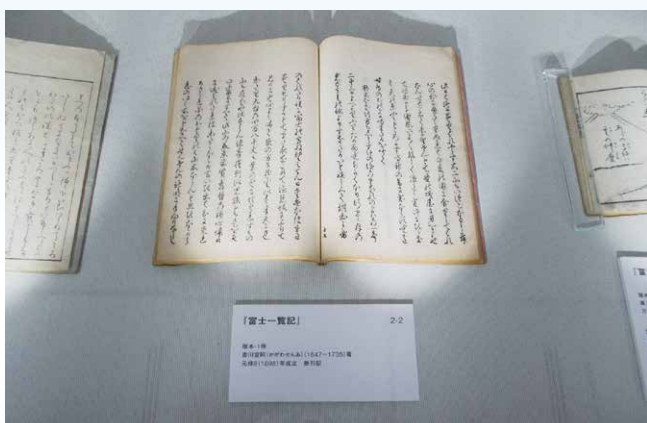
会期：2018年2月23日～2018年4月8日



第3回企画展

世界遺産登録5周年 富士山を識る —小林謙光富士山資料コレクション—

会期：2018年4月21日～2018年6月24日



第4回企画展

富士山開山記念展 描かれた富士山

会期：2018年7月7日～2018年7月16日



第5回企画展

収蔵品お披露目展 富士山に迫る

—谷文晁筆「富士山中真景全図」と新出の富士山真景図—

会期：2018年7月21日～2018年8月26日



第6回企画展

シリーズ江戸文化のなかの富士山 I 富士山絵画の正統

—19世紀狩野派の旗手 伊川院栄信と晴川院養信—

会期：第1部 2018年9月22日～2018年10月14日

第2部 2018年10月20日～2018年11月25日



第7回企画展

富士山と須走口～須走口登山道調査速報展～

会期：2018年12月15日～2019年2月11日



第8回企画展

秀景ふるさと富士写真展&審査委員長白旗史朗作品展

会期：2019年2月23日～2019年4月7日



2 活動状況

2-1 深く究める

2-1-1 巡礼路調査

■ 概要

静岡県は、これまで総合調査が実施されていない登山道及び山麓の構成資産間を結ぶ巡礼路の研究計画を策定するとともに、巡礼路等の調査を実施するため、2015年に考古学、歴史学、民俗学、美術史といった各分野の学識者で構成される「富士山巡礼路調査委員会」を設置した。

2015年から2018年度にかけては、小山町との連携の下に、須走口登山道の調査を実施し、2017年度からは、富士市及び富士宮市との連携の下に、大宮・村山口登山道の調査を開始している。

なお、調査結果は、報告書として取りまとめるほか、シンポジウムの開催や静岡県富士山世界遺産センターの企画展等で紹介するなど、情報提供戦略へと適切に反映させることとしている。

また山梨県は、富士山をめぐる自然と人との関わりを総合的に調査・研究する山梨県富士山総合学術調査研究を2008年から実施し、第2期（2012～2015年度）では、富士山周辺の巡礼路の特定を通じた各構成資産間の結びつきに関する研究を実施した。

さらに、2016年度から開始した第3期は、山梨県立富士山世界遺産センターが中心となり、「富士山文化の広がりに関する調査研究」をテーマとして、構成資産や巡礼路を拠点とした富士山の信仰文化の各地への普及・定着の変遷に関する研究を行う中で、巡礼路の未特定区間に関する調査・研究も継続実施している。

■ 取組内容

(1) 須走口登山道

ア 調査内容（2015年度～2018年度）

静岡県は、文献収集（研究論文・刊行物等）、資料収集（歴史資料：古文書・古記録、民俗資料：古写真・絵葉書・信仰用具・御札類など）、旧御師や山小屋経営者などへの聞き取り調査、登山道の現地踏査、施設跡の測量などの方法により、考古、歴史、民俗、美術の各分野ごとに、須走口登山道の経路・位置の描出や須走地区の歴史的な背景について、調査研究を計画的に進めてきた。調査結果については、2018年度中に調査報告書として取りまとめるほか、セミナーや静岡県富士山世界遺産センターの企画展で情報発信を行っている。



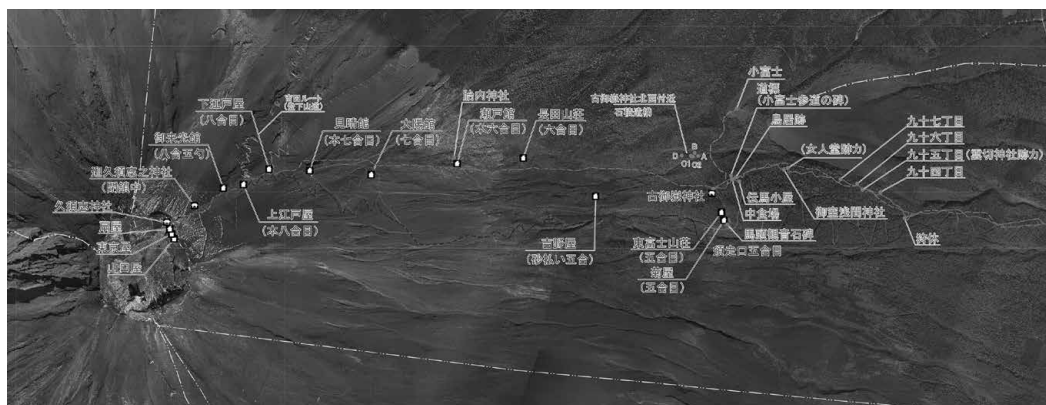
須走口登山道における現地踏査



裾野市車返霊場での富士山下山仏調査

年度別・区分別調査概要

| 区分 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|----|---|--|--|--|
| 考古 | <ul style="list-style-type: none"> 赤色立体地図等を利用して、馬返～古御嶽神社間の現地踏査でGPSデータを採取し、登山道経路を確認し、調査図面に反映。 登山道沿いの施設跡や石造物等の確認調査。 | <ul style="list-style-type: none"> 赤色立体地図等を利用して、山頂～古御嶽神社・馬返～野中神社（旧大日堂）間の現地踏査でGPSデータを採取し、登山道経路を確認し、調査図面に反映。 登山道沿いの施設跡や石造物等の測量図面の作成。 懸仏2体の実測図面作成。 | <ul style="list-style-type: none"> 各分野の補足調査を実施（旧御師伝来の民俗資料の調査、御殿場市内の宝持院・久成寺に伝来する富士山下山仏の調査など）。 報告書原稿の執筆。 | <ul style="list-style-type: none"> 報告書の編集・刊行作業。 セミナー・企画展の開催。 |
| 歴史 | <ul style="list-style-type: none"> 小山町史編纂時に製作した須走口登山道に関わる古文書・古記録のマイクロフィルムのデジタルデータ化を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 須走口登山道に関わる古文書・古記録の写真撮影。 須走口登山道に関わる古文書・古記録の活字翻刻。 | | |
| 民俗 | <ul style="list-style-type: none"> 須走口登山道に関わる旧御師や山小屋経営者への聞き取り調査、および民俗関係資料の写真撮影。 富士浅間神社境内の石造物調査。 | <ul style="list-style-type: none"> 須走口登山道に関わる旧御師や山小屋経営者への聞き取り調査、および民俗関係資料の写真撮影。 野中神社（旧大日堂）の祭礼調査。 | | |
| 美術 | <ul style="list-style-type: none"> 裾野市内の車返霊場に伝来の富士山下山仏の調査。 小山町立図書館所蔵の須走口登山道に関わるコレクション資料の調査。 | <ul style="list-style-type: none"> 御殿場市内の大雲院・宝持院に伝来する須走地区旧蔵および富士山下山仏の調査。 | | |



| 凡 例 | |
|-----|-------------------------------|
| | 須走ルート(登山道) |
| | 旧登山道 |
| | 旧登山道(推定) |
| | トラクター道 |
| | その他登山道 |
| | 陸地測量部20万分の1地図 明治20年測量(登山道) |
| | 地点(調査位置) |
| | 山小屋 |
| | 歴史的建造物 |
| | 道の駅 |
| | 行政界 |



イ 調査成果の概要

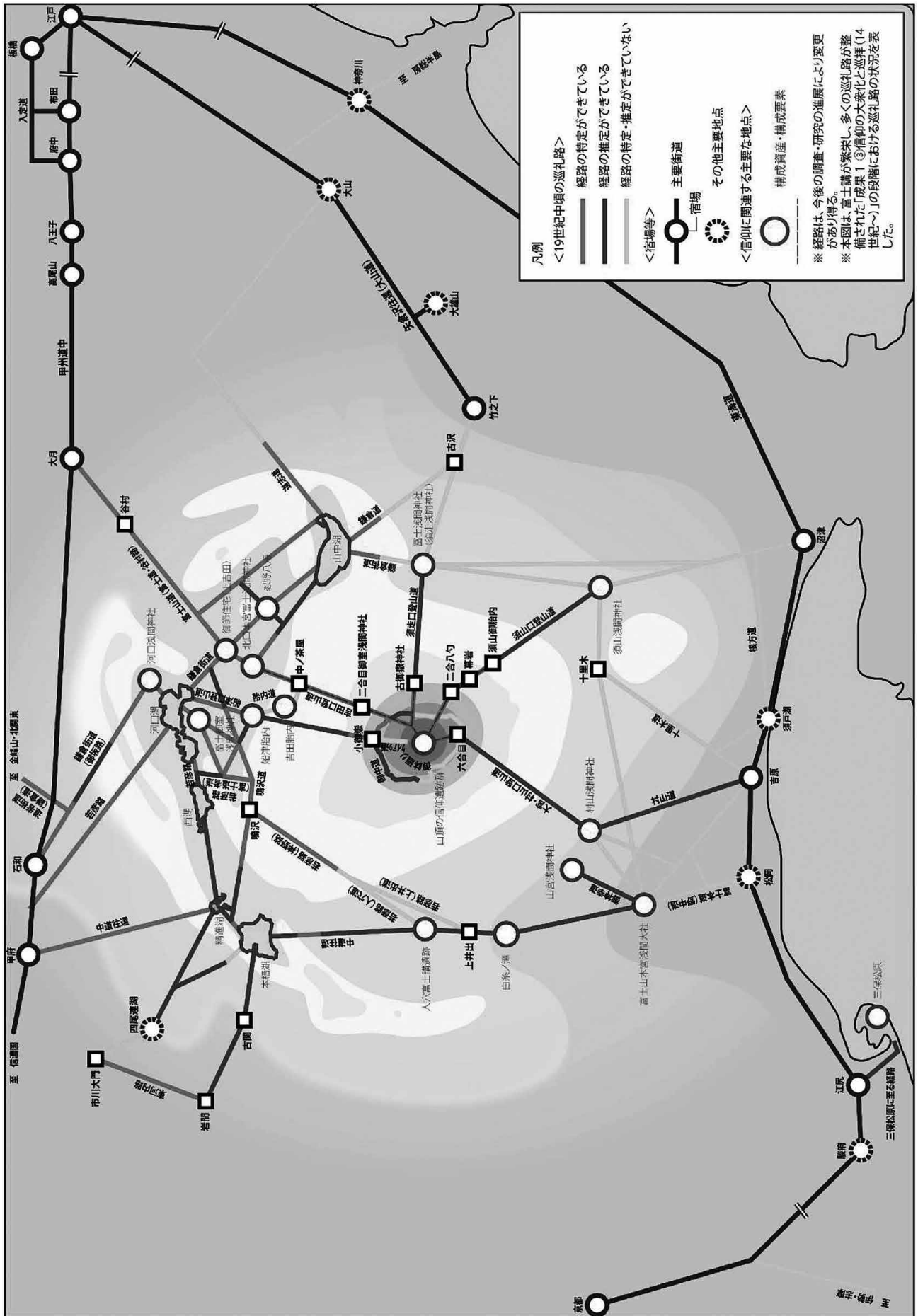
須走口登山道の調査成果の概要を以下に示す。

- ・1887年測量の陸地測量部製作地形図や赤色立体地図等をもとに現地踏査を実施した際に取得したGPSデータから、須走口の起点となる富士浅間神社から終点となる富士山頂までの経路を描出した登山道経路の図面を製作した。この図面は、これまで未調査の経路区間であった富士浅間神社から古御嶽神社間の経路も含むものである。
- ・現地踏査によって明らかになった登山道沿いに現在も残る石造物や施設跡について調査を行い、将来に伝えていくための実測図面を製作した。
- ・須走口登山道に関わる歴史資料、民俗資料を分析することにより、須走口登山道が果たしてきた歴史的な背景や登山道の利用状況などについて考察を行った。
- ・その他、須走口登山道に関わる資料群について、新たな資料の発見・把握と現状の伝来状況について確認することができた。

(2) 大宮・村山口登山道

静岡県は、須走口登山道と同様に、富士山巡礼路調査委員会において策定した研究計画に基づき現地踏査、資料調査などを計画的に進め、その成果を報告書として刊行するとともに、セミナー等を開催し、積極的に情報発信を行う予定である。

| 2017年度 | 2018年度及び2019年度 | 2020年度 |
|-------------|-----------------|--------------|
| ●現地調査用図面の作成 | ●本調査(現地踏査、資料調査) | ●補足調査 |
| → | ●現地測量(石造物・施設跡) | ●調査報告書の編集・刊行 |
| | | ●セミナー開催 |



巡礼路概念図

2-1-2 研究活動

■ 松島 仁 (まつしま じん) 教授

1 著書 (編著・単著)

- ・『権力の肖像 狩野派絵画と天下人』、単著、ブリュッケ、2018年6月、384頁
- ・『富士山絵画の正統 19世紀狩野派の旗手 伊川院栄信と晴川院養信』、編著、静岡県富士山世界遺産センター、2018年9月、56頁

2 論文

- ・「富士山 絵画ジャンルの創生と展開」、『聚美』第29号、聚美社、2018年10月、52-59頁
- ・「富士山学を拓く—静岡県富士山世界遺産センターと富士山学研究の可能性」、『環境考古学と富士山』第3号、雄山閣、2018年3月、3-8頁
- ・「富士山というナショナルアイコン」、『季刊民俗学』第167号、一般財団法人千里文化財団、2019年1月、76-85頁

3 報告書等

なし

4 その他の執筆

- ・「狩野尚信筆 布袋・葦に雉子・枯木に呖々鳥図」所蔵品紹介、『公益財団法人徳川記念財団会報』第31号、2018年6月
- ・「狩野董川中信筆 富士飛鶴図」作品解説、『環境考古学と富士山』第3号、雄山閣、2019年3月、口絵

5 学会発表

- ・「日本の内なる”中華”に屹立する富士山—「日本型華夷意識」を中心に」、ふじのくに地球環境史ミュージアム・静岡県富士山世界遺産センター合同第3回国際シンポジウム「富士山学を拓く 世界遺産富士山から読み解く人類世の自然と文化」専門セッション、2018年3月2日、富士宮市民会館
- ・Mt.Fuji in the "Japanese Form of Chinese Suzerainty" or Tokugawa Shogun's Self Image, Association for Asian Studies Annual Conference, Panel343 The Issue of "Openness" in Early-Edo Political Culture, Marriott Wardman Park Hotel, Washington, D.C., March 24, 2018
- ・「東アジア山水画のなかの富士山」、ふじのくに地球環境史ミュージアム・静岡県富士山世界遺産センター合同第3回国際シンポジウム「島嶼環境文明にみる地球の未来」専門セッション、2019年3月17日、グランシップ

6 一般講演 (館内講座・ガイド養成講座は除く)

- ・「富士山と三保松原」、「三保松原学」文化講座、2018年1月20日、清水テルサ
- ・「静岡県富士山世界遺産センターと”富士山学”研究の可能性」、ふじのくに地球環境史ミュージアム・静岡県富士山世界遺産センター合同第3回国際シンポジウム「富士山学を拓く 世界遺産富士山から読み解く人類世の自然と文化」公開シンポジウム、2018年3月4日、富士ロゼシアター
- ・「天下人たちのイメージ戦略—信長、秀吉、家康、もう一つの戦い—」、2017年度図書館講座、2018年3月15日、富士宮市立中央図書館

- ・「ワークショップ フジサンを描いてみよう!」、「ふじさんが見える」展関連イベント、2018年7月28日、静岡市立登呂博物館
- ・「特別展 富士山絵画の正統 第一部 記念講演」、2018年9月23日、静岡県富士山世界遺産センター
- ・「富士山絵画の正統—狩野派と百花繚乱の江戸画壇」、2018年度図書館講座、2018年9月26日、富士宮市立中央図書館
- ・「特別展 富士山絵画の正統 第二部 記念講演」、2018年11月3日、静岡県富士山世界遺産センター
- ・「富士山イメージの政治学—徳川将軍を中心に—」、「富士山の日」フェスタ2019、2019年2月23日、御殿場高原ホテル

7 授業

- ・静岡学、静岡文化芸術大学、2018年10月23日
- ・文化財学概説、愛知県立芸術大学、2018年12月18~20日（集中講義）

8 社会的活動

(1) 委員・役員

東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会臨時委員（2019年2月）

公益財団法人徳川記念財団特別研究員（2012年4月～現在）

(2) 非常勤講師・客員教員等

愛知県立芸術大学非常勤講師（2017年4月～2019年3月）

(3) 査読

なし

(4) 学術交流・研究会の開催

なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

なし

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

(1) テレビ

2017年12月23日 NHK

2018年10月24日 NHK

(2) ラジオ

2018年10月1日 ラジオエフ 「ミュージアムリンク」

2018年10月8日 ラジオエフ 「ミュージアムリンク」

(3) 新聞

2018年7月22日 岳南朝日 「富士山に迫る」取材

2018年7月22日 静岡新聞 「富士山に迫る」取材

2018年7月24日 東京新聞 「富士山に迫る」取材

2018年7月29日 朝日新聞 ワークショップ取材

2018年8月2日 毎日新聞 「富士山に迫る」取材

2018年9月22日 静岡新聞 「富士山絵画の正統」取材

2018年9月25日 静岡新聞 「富士山絵画の正統」取材

2018年9月28日 静岡新聞 「富士山絵画の正統」講演会取材

2018年10月20日 静岡新聞 「富士山絵画の正統 第2部」取材

2018年10月20日 東京新聞 「富士山絵画の正統 第2部」取材

10 海外学術調査

2018年3月20・22日 ワシントン スミソニアン協会フリーア美術館

■ 大高 康正（おおたか やすまさ）准教授

1 著書（編著・単著）

なし

2 論文

- ・2019年3月「いったい何が「参詣曼荼羅」なのか—学術用語の概念規定への試み—」（『環境考古学と富士山』第3号）

3 報告書等

- ・2018年3月『鈴川の富士塚』（分担執筆、富士市教育委員会発行）
- ・2018年11月『富士山巡礼路調査報告書 須走口登山道』（分担執筆、静岡県富士山世界遺産センター発行）

4 その他の執筆

- ・2017年12月静岡県富士山世界遺産センター開館記念展リーフレット「富士山の曼荼羅～参詣曼荼羅にみる富士山信仰の世界～」（静岡県富士山世界遺産センター）
- ・2018年3月「三重県伊勢・志摩地方の富士先達—鳥羽市今浦の浅間堂—」（『帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要』18号）
- ・2018年12月静岡県富士山世界遺産センター企画展リーフレット「富士山と須走口 須走口登山道調査速報展」（静岡県富士山世界遺産センター）

5 学会講演

- ・2018年7月21日「富士山の参詣曼荼羅と三禅定—松栄寺本の絵解きを中心に—」（名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホール）
- 2019年1月13日「絵解きで顕わす伊豆・富士山の世界」（神奈川県立金沢文庫地下大会議室）

6 一般講演

- ・2018年7月21日「富士山信仰とそれ以前」：静岡市立登呂博物館企画展「富士山がみえる」関連講演会
- ・その他、富士山世界文化遺産出前講座を適宜対応

7 授業

- ・2018年10月12日東海大学短期大学部：「静岡と世界遺産」

8 社会的活動

(1) 委員・役員

日本山岳修験学会評議員

静岡市文化財保護審議会審議委員

富士市文化財保護審議会審議委員

小山町文化遺産を活かした巡拝の道づくり委員会委員

(2) 非常勤講師・客員教員等

なし

(3) 査読

なし

(4) 学術交流・研究会の開催

- ・2018年度東京大学史料編纂所一般共同研究「参詣曼荼羅図を中心とする富士山信仰史資料の総合的研究と公開」(研究代表：大高康正)
- ・2018年7月21日「立山・白山・富士山と参詣曼荼羅の世界「三禅定」絵解きフォーラム」(名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター)
- ・2018年12月2日「伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク認定記念シンポジウム 伊豆マンダラの絵解き解説」(韮山時代劇場)
- ・2019年1月13日「神奈川県立金沢文庫特別展「顕れた神々」展関連ワークショップ 絵解きで顕わす伊豆・富士山の世界」(神奈川県立金沢文庫)

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

適宜対応

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

(1) テレビ

2019年1月6日 静岡朝日テレビ 「池上彰と学ぶ なるほど!富士山7つの秘密」

10 海外学術調査

なし

■ 田代一葉 (たしろ かづは) 主任研究員 (~2018年3月)、准教授 (2018年4月~)

1 著書(編著・単著)

(共著) 田代一葉、「元文三年(1738) 大嘗会の再興と上方中心文化の終焉」、鈴木健一編『輪切りの江戸文化史 この一年に何がおこったか?』勉誠出版、2018年、pp.125-148

2 論文

- ・田代一葉、「近世期の儀礼和歌—元文三年度大嘗会和歌の再興について」、『日本文学研究ジャーナル』第4号、2017年12月、pp.30-40
- ・Kazuha Tashiro, Mount Fuji and Waka poetry, Multidisciplinary studies on the environment and civilization : Japanese perspectives (Routledge studies on Asian anthropocene studies), Routledge, 2018, pp.69-75
- ・田代一葉、「都良香「富士山記」について」、『環境考古学と富士山』第2号、2018年3月、pp.79-87
- ・田代一葉、「富士山と見立て」、『環境考古学と富士山』第3号、2019年3月、pp.44-52

3 報告書等

なし

4 その他の執筆

- ・2018年4月静岡県富士山世界遺産センター企画展リーフレット「一富士山を識る—小林謙光富士山

資料コレクション」(静岡県富士山世界遺産センター)

5 学会講演

なし

6 一般講演

なし

7 授業

・「日本文学史概説Ⅱ」、(学習院大学文学部日本語日本文学科科目)、1コマ

8 社会的活動

(1) 委員・役員

なし

(2) 非常勤講師・客員教員等

なし

(3) 査読

なし

(4) 学術交流・研究会の開催

なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・日本平夢テラス 常設展示内容の確認
- ・三保松原文化創造センター 常設展示協力
- ・県民からの問い合わせ対応：5件

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

(1) ラジオ

- ・2018年12月18日～21日 Hello!Radio 「アナタの隣の働く女神」コーナーインタビュー、ラジオ日本

(2) 新聞

- 2018年9月6日 伊豆新聞 「田子の船上から歌を詠む? 細川さん新説提唱」
- 2018年9月6日 熱海新聞 「田子の船上から歌を詠む? 細川さん新説提唱」
- 2018年9月6日 伊豆日日新聞 「田子の船上から歌を詠む? 細川さん新説提唱」
- 2019年2月23日 中日新聞 富士山の日特集「古典にも鮮やかな姿」
- 2019年2月23日 東京新聞 富士山の日特集「古典にも鮮やかな姿」

10 海外学術調査

なし

● 2-1-3 資料収集

1 資料収集の方針

静岡県富士山世界遺産センターでは、設置目的である富士山の価値の後世継承、富士山学の研究、情報発信拠点としての役割を果たすため、富士山に関する資料を以下の視点から収集している。

- (1) 世界遺産「富士山」の「信仰の対象」と「芸術の源泉」としての価値を証明する資料を収集する。
- (2) 収集により、富士山に関する貴重な資料の散逸を防ぎ、適切な保存環境にしておくことで、文化財として保護を行う。
- (3) 世界遺産富士山に関する幅広い領域にわたる資料を収集し、センターとして特色あるコレクションを構築する。

2 開館前収集作品

- ・小林謙光富士山資料コレクション：2015年12月受入。

古典籍・絵図・摺物約140点、絵はがき（組絵はがき 約500セット〈約4,700枚〉、バラ約2,200枚）、図書・雑誌約800冊、その他印刷物約1,500枚、その他民俗資料など、総数約9500点。

3 2017年度収集作品

(1) 購入

- ・谷文晁筆 富士山中真景全図 22.0cm×1177.0cm 一卷 紙本着色
- ・狩野晴川院養信 富士山図 46.5cm×87.5cm 一幅 絹本墨画

(2) 寄贈

- ・鈴木雅史氏寄贈資料：2017年10月受入。
歴史資料約60点、民俗資料約399点など、総数約500点。

4 2018年度収集作品

(1) 購入

- ・狩野董川中信筆 富士飛鶴図 130.2cm×56.3cm 一幅 絹本着色
- ・狩野常信筆 秋景富士三保清見寺図 58.0cm×144.0cm 一幅 絹本着色
- ・司馬江漢筆 相州江ノ島龍口図 69.1cm×92.8cm 一幅 絹本着色

(2) 寄贈

- ・佐野宮峰氏寄贈資料：2018年5月受入。
歴史・民俗資料など総数約30点。

2-2 楽しく伝える

2-2-1 企画展

○第一回企画展

富士山の曼荼羅^{まんだら}～参詣曼荼羅^{さんけいまんだら}にみる富士山信仰の世界～

会 期 2017年12月23日～2018年2月12日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

観覧者数 77,654人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

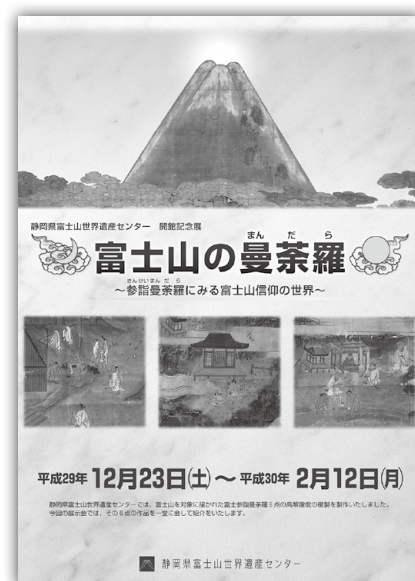
主として16～17世紀にかけて、霊場（寺院・神社）への参詣を目的として制作された、宗教的な案内絵図である参詣曼荼羅は、17世紀以降に制作された作品を含めて、全国40箇所以上の寺社に150点ほどが現存している。

静岡県の富士山信仰は、主要街道である東海道が東西を横断していることが大きく影響し、東海道を利用し、特に東海地方から近畿地方を中心とする西国方面から、富士山への参詣者が数多く訪れ、基本的には富士山表口（大宮・村山口登山道）から富士山へと参詣していることを背景に、富士参詣曼荼羅の各作品が誕生している。

静岡県富士山世界遺産センターでは、富士山を対象に描かれた富士参詣曼荼羅の高解像度デジタル撮影データを利用した複製本6点を製作し、開館記念としてこの6点の作品を一堂に会して紹介した。

出展作品

- ・富士曼荼羅（富士山本宮浅間大社所蔵、国指定重要文化財指定本原寸複製）
- ・富士浅間曼荼羅（富士山本宮浅間大社所蔵、静岡県有形文化財指定本原寸複製）
- ・富士参詣曼荼羅（静岡県立美術館所蔵本原寸複製）
- ・富士参詣曼荼羅（富士山本宮浅間大社所蔵本原寸複製）
- ・富士参詣曼荼羅（矢田原第三農家組合所蔵本原寸複製）
- ・富士参詣曼荼羅（天満山松栄寺所蔵本原寸複製）



○第二回企画展

秀景ふるさと富士写真展

会 期 2018年2月23日～2018年4月8日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

観覧者数 70,096人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

静岡県では、富士山を想い、考え、学ぶ日として、毎年2月23日を「富士山の日」と定めている。

県では、富士山の日運動の一環として、全国に400以上あるといわれ、富士山へのあこがれと、富士山に似た円錐状の美しい山容から、その地方で「富士」と呼ばれる「蝦夷富士（羊蹄山）」や「薩摩富士（開聞岳）」などの「ふるさと富士」を撮影した写真を募集するコンテスト、「秀景ふるさと富士写真コンテスト」を2011年から毎年開催している。

静岡県富士山世界遺産センターでは、開館に伴いコンテストを引き継ぎ、2017年に「第8回秀景ふるさと富士写真コンテスト」を実施したところ、フィルム部門、デジタル部門合わせて、617点の応募があった。

本企画展は、山岳写真家の第一人者である白簞史郎氏ら審査委員が厳選した、フィルム部門、デジタル部門、それぞれの入選作品合計101点を展示した。

出展作品

（フィルム部門）

最優秀賞 桃源の里（「摺鉢山（吾妻小富士）」）鈴木彦三

優秀賞 早春の阿寒富士（「阿寒富士（阿寒富士）」）高橋和幸

優秀賞 残雪焼岳（「焼岳（安曇野富士）」）森源利

他14作品

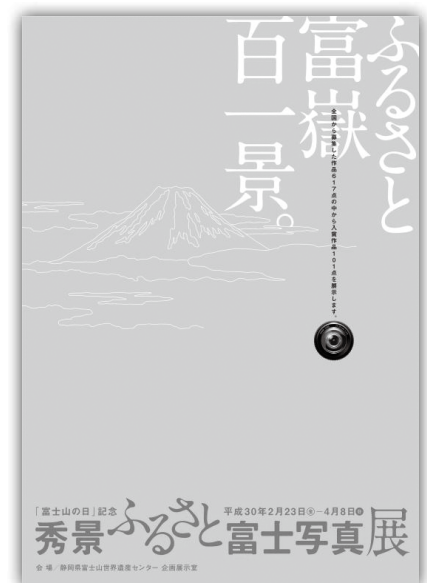
（デジタル部門）

最優秀賞 マガンと大山（「大山（伯耆富士）」）赤坂俊一

優秀賞 南部富士と桜並木（「岩手山（南部富士）」）岩城茂孝

優秀賞 霧中の花園（「筑波山（筑波富士）」）小池佳子

他81作品



○第三回企画展

富士山を識る—小林謙光富士山資料コレクション—

会 期 2018年4月21日～2018年6月24日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

観覧者数 78,617人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

2015年12月、御殿場市出身の郷土史研究家・小林謙光氏が収集した資料群が寄贈された。

センター初の収蔵品であり、「小林謙光富士山資料コレクション」と命名されたこの資料群は、江戸時代から昭和初期までの、絵図・古文書・古典籍・地図・絵はがき・古写真に加え、現代のポスターやチラシ、ガイドブック、登頂記念品など多岐にわたる。

なかでも、明治初期から昭和期にかけて発行された絵はがき約7,000枚は、富士山頂や登山道、周辺地域を写した写真資料として高い価値を持ち、当時の富士登山の様子を今に伝える研究資料としての活用が期待される。

本企画展では、「小林謙光富士山資料コレクション」初公開にあたり、その多彩な資料群の柱である、絵図・古典籍・地図・登山案内書・絵はがきを中心に展示し、江戸時代から、明治・大正・昭和にいたる富士山と富士登山の歴史の一端を紹介した。

主な出展作品

- ・「須走中心富士細密絵図」木版多色刷り
- ・「富士山俯瞰大絵図」紙本淡彩
- ・「隔搔録」写本
- ・「富士山の思い出」8枚組絵はがき

イベント

- ・「富士山を識る」記念講演

2018年5月12日

講師：奥矢恵研究員（山梨県富士山科学研究所）

田代一葉准教授

- ・館内講座

2018年5月20日

講師：田代一葉准教授

- ・世界遺産登録5周年記念日企画ギャラリートーク

2018年6月22日

講師：田代一葉准教授



○第四回企画展

富士山開山記念展 描かれた富士山

会 期 2018年7月7日～2018年7月16日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

入場者数 12,312人(期間中の常設展チケット発券枚数)

概 要

人々に畏怖の念を与え、ときに篤い崇敬を集めてきた聖なる火山—富士。噴火を繰り返し溶岩流ですべてを焼きつくす荒ぶる姿とは対照的に、白雪をまとい優雅に稜線を垂下させる麗しい姿は、古来詩歌にたたえられるとともに、絵画作品としても伝えられてきた。江戸時代に入ると狩野派絵師による定型も成立し、日本人の視覚イメージや景観認識を規定していく。

江戸時代も中～後期になると、富士山は新しい首都江戸の標徴とみなされ、絵画作品に頻繁に登場するようになる。富士山が絵画ジャンルとして確立されたのが江戸時代だといえよう。さまざまな流派、さまざまな画家によりさまざまな富士山が描かれた江戸時代は、富士山絵画の百花繚乱の季節だったのである。

本展覧会では、諸派諸流を集めたセンター所蔵品・寄託品により、江戸時代富士山絵画の多様な展開を展覧する。

主な出展作品

- ・狩野常信（1636-1713）筆 富士山図 絹本墨画 一幅
個人蔵（当センター寄託）
- ・狩野晴川院養信（1796-1846）筆 富士山図 絹本墨画 一幅
当センター蔵
- ・淵上旭江（1753-1816）薩埵嶺縮写図 絹本着色 一幅
個人蔵（当センター寄託）
- ・谷文晁（1763-1841）富士山中真景全図 紙本着色 一卷
当センター蔵
- ・小泉斐（檀山）（1770-1854）駿州補陀落山眺望図 絹本淡彩 一幅
個人蔵（当センター寄託）



○第五回企画展

収蔵品お披露目展 富士山に迫る

—谷文晁筆「富士山中真景全図」と新出の富士山真景図—

期 間 2018年7月21日～2018年8月26日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

入場者数 40,949人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

静岡県富士山世界遺産センター第一号の収蔵品である谷文晁筆「富士山中真景全図」は、富士登山の過程を計34図にわたり描いた作品。作者の谷文晁は、葛飾北斎や酒井抱一らが活躍した18世紀末から19世紀前半の江戸画壇に一世を風靡した人気絵師で、「写山楼」と号するなど、自他とも認める富士山の画家だった。

「富士山中真景全図」の冒頭には、11代将軍徳川家斉による評語が書されるため、将軍の上覧を得た作品であることがわかる。家斉は本作をひもとくことで、富士登山を追体験したのである。

一方、人々が自由に旅行をすることができた江戸時代には、実際に目にした風景をときにリアルに、ときに心に応じて描いた「真景図」が描かれるようになり、富士山もその主要なモチーフとしてえらばれた。

センター初の本格的な美術展となる本企画展では、新収蔵の「富士山中真景全図」とともに、富士山真景図の新出作品を集め展覧する。

主な出展作品

- ・谷文晁（1763-1841）筆 富士山中真景全図 一巻 当センター蔵
- ・作者未詳 江ノ島富士 一巻 小山町蔵
- ・原在中（1750-1837）筆 過吉原駅望芙蓉景図 一幅
個人蔵（当センター寄託）
- ・原在中（1750-1837）筆 芙蓉及三保真景図 一幅
個人蔵（当センター寄託）
- ・原在中（1750-1837）筆 富士登山図 一幅
個人蔵（当センター寄託）

イベント

- ・館内講座
2018年7月21日
講師：松島仁
- ・記念講演会
2018年8月11日
講師：高橋敏郎（大東文化大学教授）
大橋美織（東京国立博物館研究員）



○第六回企画展（特別展）

シリーズ 江戸文化のなかの富士山 1

富士山絵画の正統—19世紀狩野派の旗手 伊川院栄信と晴川院養信—

期 間

第1部 富士山図 定型の生成とその変奏 2018年9月22日～2018年10月14日

第2部 巨匠たちの競宴 富士越龍（ふじごしりゅう） 2018年10月20日～2018年11月25日

観覧料 一般：700円／70歳以上：200円／大学生以下：無料

入場者数 13,785人（期間中の企画展チケット発券枚数）

概 要

江戸時代はじめ徳川将軍御用絵師として活躍した狩野探幽（1602-1674）は、伝雪舟筆「富士三保清見寺」の構図を応用し、富士山図の定型を創出する。

富士山が絵画作品に頻繁に登場ようになる江戸時代後期には、「富士越龍図」はじめさまざまな富士山絵画の主題が生み出された。富士山絵画の型が成立しジャンルとして定着したのが江戸時代であり、いわゆる「化政文化」を育んだ19世紀前半の江戸は、その百花繚乱の季節だった。

こうしたなか御用絵師筆頭の狩野伊川院栄信（1775-1828）・晴川院養信（1796-1846）父子は、探幽以来の型を継承し同時代の新傾向にも目を配りつつ画壇を牽引した、富士山絵画の正統であった。

本展覧会では、狩野伊川院・晴川院を定点とし、富士山絵画の定型の成立と展開について通時的に検証する第一部、富士山絵画そして江戸画壇の最盛期を「富士越龍」主題の比較を通し共時的に検証する第二部から江戸時代富士山絵画の豊饒な成果を通覧する。

主な出展作品

- ・狩野探幽（1602-1674）筆 富士三保清見寺図 絹本墨画淡彩 三幅対
栃木県立博物館蔵
- ・狩野伊川院栄信（1775-1828）筆 竹林七賢図／狩野晴川院養信（1796-1846）筆
富士三保松原図 紙本墨画淡彩 各襖四面 静岡市・臨濟寺蔵
- ・谷文晁（1763-1840）筆 富士越龍・三保松原・東下り図
絹本着色 三幅対 個人蔵
- ・酒井抱一（1761-1829）筆 不二山図 絹本墨画 一幅
東京都江戸東京博物館
- ・葛飾北斎（1760-1849）筆 佐久間象山（1811-1864）賛
不二越龍図 紙本墨画淡彩 一幅 個人蔵

関連イベント

- ・記念講演会 1
2019年9月23日
講師：松島仁
- ・記念講演会 2
2019年11月3日
講師：松島仁



○第七回企画展

富士山と須走口～須走口登山道調査速報展～

期 間 2018年12月15日～2019年2月11日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

入場者数 44,170人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

2013年6月に富士山はユネスコ世界文化遺産に登録されたが、登録にあたってユネスコ世界遺産委員会から、今は使われなくなってしまった山中・山麓の登山道・巡礼路の位置・経路の全体を特定し、来訪者がかつての巡礼路の経路を通じて、構成資産間の関係性・つながりを認識・理解できるように情報提供戦略等へ反映させるよう勧告がなされている。

この勧告を受け、構成資産間を結ぶ経路の特定に向けた調査を円滑に行うため、富士山巡礼路調査委員会を設置し、総合的な調査・研究を順次進めているが、静岡県富士山世界遺産センターと小山町教育委員会では、2015年度より富士山須走口登山道の調査を共同で進めてきた。

この企画展は、共同調査の成果を皆様へお知らせするものとして開催した。

出展作品

- ・懸仏（至徳元年、小山町教育委員会）
 - ・懸仏（天文12年、東口本宮富士浅間神社）
 - ・「富士山内院散銭分ヶ取帳」（宝永元年～慶応2年、東口本宮富士浅間神社）
 - ・「〔須走村家並書上〕」（江戸時代（宝永年間）、東口本宮富士浅間神社）
 - ・「〔スーアル博士富士登山写真〕」（大正9年、静岡県富士山世界遺産センター「小林謙光富士山資料コレクション」）
 - ・大日如来像坐像（文安2年、蔵春山宝持院）
- など48点の作品を紹介した。

イベント

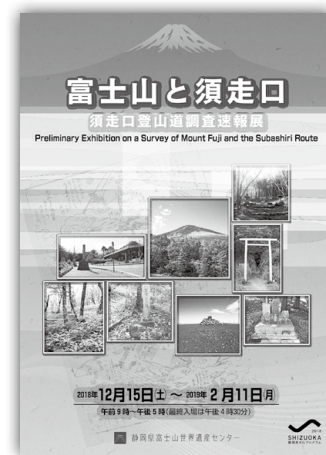
- ・特別講演

2019年1月27日

講師：青柳周一（滋賀大学経済学部附属史料館教授）

演題：「近世の富士山にみる宣伝と集客

—小林謙光コレクション「須走中心富士細密絵図」をめぐって—



○第八回企画展

秀景ふるさと富士写真展&審査委員長白旗史朗作品展

会 期 2019年2月23日～2019年4月7日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

入場者数 36,042人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

静岡県では「富士山の日」の推進運動の一環として「秀景ふるさと富士写真コンテスト」を2011年から毎年実施している。

静岡県富士山世界遺産センターでは、昨年度に引き続き「第9回秀景ふるさと富士写真コンテスト」を実施したところ、北海道から九州までの全国各地からフィルム部門、デジタル部門合わせて、439点の応募があった。

本企画展では、山岳写真家の第一人者である白旗史朗氏ら審査委員が厳選した、フィルム部門、デジタル部門、それぞれの入選作品68点を展示した。併せて、審査委員長である白旗史朗氏の御厚意により、写真集『富士眩耀』（ふじげんよう）に収められた貴重なモノクロ原版写真30点を初めて公開し、岩本山から春の富士山を撮影した「梅薫る」などカラー写真パネル3枚とともに展示した。

出展作品

（フィルム部門）

最優秀賞 松坂城址の桜と伊勢富士（「堀坂山（伊勢富士）」）小谷哲朗

優秀賞 初夏の吾妻小富士（「摺鉢山（吾妻小富士）」）山崎 泰

優秀賞 まるで富士（「大山（伯耆富士・出雲富士）」）小河 昌弘

他7作品

（デジタル部門）

最優秀賞 梅の花と南部富士（岩手山「（南部富士）」）田村 富美男

優秀賞 有明に映ゆ（「羊蹄山（蝦夷富士）」）藤川 章子

優秀賞 寒さ緩む頃（「大山（伯耆富士・出雲富士）」）宮野 輝夫

他55作品



● 2-2-2 アトリウム展示活動

静岡県富士山世界遺産センター1階アトリウムでは、様々な機関と連携し、作品展示を行った。

(1) ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携

(2018年8月10日～2018年8月27日)

ふじのくに地球環境史ミュージアムによる巡回展示「ミュージアムキャラバン」の一環として、静岡県の化石やアンモナイトを集めた「化石の世界」を展示した。

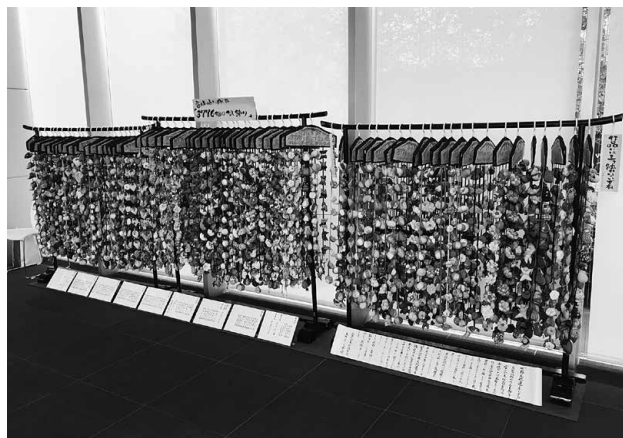


ミュージアムキャラバン「化石の世界」展示

(2) 富士宮市地域イベントとの連携

富士宮市のまちなかイベントの一環として、次の作品展示を行った。

- ・つるし雛の展示
(2018年7月1日～2018年7月10日)
- ・小学生絵画コンクール受賞作品の展示
(2018年7月11日～2018年7月16日)



つるし雛展示

(3) 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議との連携

(2018年1月26日～2018年2月8日、2019年2月7日～2019年2月19日)

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が主催する、全国の小中高生を対象とした富士山をテーマにした書き初めコンテストの受賞作品を展示した。



2018年書き初め展示

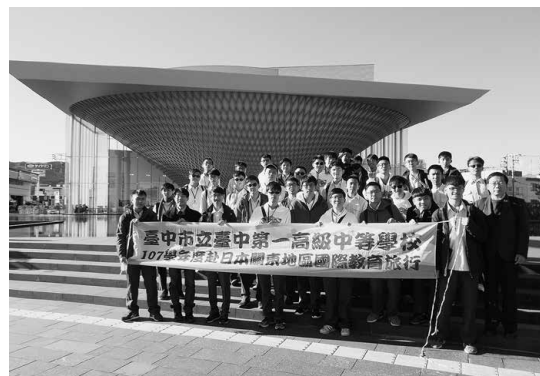


2019年度書き初め展示

● 2-2-3 教育旅行受入実績

1 教育旅行の受入

静岡県富士山世界遺産センターの基本コンセプトのひとつ「楽しく伝える」に、富士山の「楽習」機会の提供～学習支援～が位置付けられており、その一環として、センターへの学校等団体による教育旅行の来館促進に取り組んでいる。



2018年12月 台中第一高級中等学校来館

2 受入実績概要

開館から2018年度末までの約15ヶ月において、下表のとおり、静岡県内を中心に、首都圏、中部圏、関西圏のほか海外から、延べ137校の学校等団体の来館があった。

教育旅行来館数（2017年12月23日～2019年3月31日）

（単位：校）

| | 東部 | 中部 | 西部 | 首都圏 ※1 | 中部 ※2 | 関西 ※3 | 海外 ※4 |
|-------------|-----|----|----|-----------|----------|----------|----------|
| 保育園 幼稚園 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小学校 | 31 | 20 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 中学校 | 18 | 4 | 4 | 6 | 2 | 0 | 0 |
| 高等学校 | 15 | 7 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| 大学 (大学院) | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 |
| 専門学校 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 |
| 小計 | 76 | 34 | 4 | 15 | 2 | 3 | 3 |
| | 114 | | | | | | |
| 合計 | 137 | | | | | | |

※1…東京都・神奈川県・千葉県・茨城県・群馬県・山梨県

※2…愛知県

※3…京都府・大阪府

※4…台湾・デンマーク

また、開館から2018年度末までの約15ヶ月の来館者61万7,671人のうち、小人の入場券発券数4万5,821枚（全発券数の9.1%）、学生の入場券発券数1万4,567枚（全発券数の2.9%）であり、その内、教育旅行での受付人数は小人（幼稚園・保育園・小学校・中学校）7,693人（小人発券数の16.8%）、学生（高等学校・大学・大学院・専門学校等）2,405人（学生発券数の16.5%）であった。

※チケット区分 小人：15歳未満の児童・生徒

学生：15歳以上の生徒・学生

教育旅行来館時に提供するワークシートの例（小・中学校向け）

静岡県富士山世界遺産センター
観覧シート

静岡県富士山世界遺産センターは、世界文化遺産の「富士山」を、体で感じながら学んでいただく施設です。事前に展示のながれや見どころを確認して、充実した時間を過ごしてください。

① <登拝する山>

「富士登山」は、神様のご利益を得ようとしたことから始まりました

問題1 「疑似登山体験」のらせんスロープは何mでしょう？
ア. 93m イ. 193m ウ. 1930m

② <展望ホール>

「富士山の可視範囲」のパネルで調べてみよう

問題2 富士山が見える最南端の島は、何島でしょう？
ア. 大島 イ. 新島 ウ. 八丈島

③ <荒ぶる山>

「火山としての富士山」を学ぶコーナーです

問題3 真ん中にある、日本列島周辺のプレートの動きと富士山の関係を解説する展示の秘密は何だと思えますか？
ア. 画面は平面なのに映像は立体的に見える
イ. 画面にあわせて足元がゆれているように感じる
ウ. 秘密はない！

④ <聖なる山>

富士山の聖域を上空から見てみましょう

問題4 床に貼られている写真は、何を上空から撮影したものでしょう？
ア. 月のクレーター イ. 駿河湾 ウ. 富士山の火山口

⑤ <美しき山>

新しい展示方法として好評です

問題5 「描かれた富士山」のタッチパネル(縦長の大きなパネル)には、どんなしくみがあると思いますか？
ア. タップ(軽くたたく)すると音が出る
イ. スワイプ(指を滑らせる)すると画面が消える
ウ. ピンチアウト(2本指を広げる)すると画面が拡大する

⑥ <育む山>

「富士山の湧水」はたくさんの生きものを育んでいます

問題6 左官の技術で床に描かれている富士山周辺の地形の中に、富士山の恵みである湧水の場所が2ヶ所示されています？1つは浅間大社の湧玉池ですが、もう1ヶ所はどこでしょう？
ア. 駿河湾の海底 イ. 三保半島 ウ. 富士山頂

⑦ <受け継ぐ山>

「聖なる山」の「富士講(ふじこう)」の説明を見てみよう。

問題7 バルコニーにある、富士山の石で作られたもの(昔の人は、これに登ることで、実際に富士山に登ったのと同じご利益があると考えていました…)は何でしょう？
ア. 石塚 イ. 岩塚 ウ. 富士塚

<発展問題>

自然の営みである富士山が、なぜ「世界文化遺産」なのでしょう？

()学校()年 氏名()

ようこそ、静岡県富士山世界遺産センターへ！
～ ① → ⑦ の 道じゅんを かくにん しよう！ ～

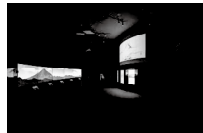
③荒ぶる山(地震と火山のしょうかい)



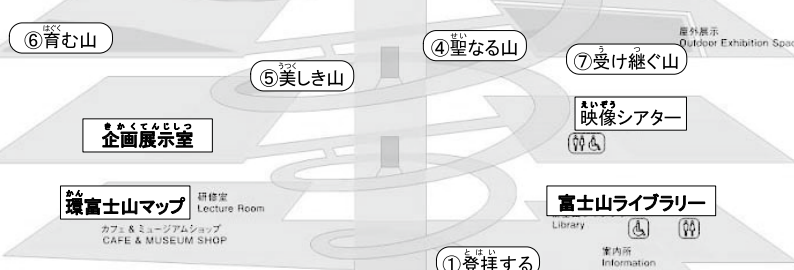
②展望ホール(目の前にはほんものの富士山)



⑤美しき山(美しい富士山のすがた)



④聖なる山(神さまとしての富士山)



⑥育む山(自然ゆたかな富士山)



⑦受け継ぐ山(富士山をみらいへ)



水面にうつった静岡県富士山世界遺産センター



①登拝する山(頂上めざして登山体験)

静岡県富士山
世界遺産センター

● 2-2-4 富士山世界文化遺産出前講座

1 概要

富士山世界文化遺産出前講座は、富士山の自然や文化、世界遺産についての基礎知識をわかりやすく説明し、富士山についての理解と関心を高め、世界遺産「富士山」の後世継承への気運を高めることを目的とし、小・中・高校の「総合的な学習の時間」や「特別活動」の野外活動の事前学習のほか、公民館等各種団体からの依頼を受けて講師を派遣し、講座を実施している。

2 対象・地区別実施数（人数）

〈一般〉

| | 地区（件） | | | 総計 |
|-------|-------|-----|-----|-------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | |
| 一般 | 19 | 12 | 5 | 36 |
| 人数（人） | 1,205 | 584 | 180 | 1,969 |

〈学校〉

| | 地区（校） | | | 小計 | 人数（人） |
|-----|-------|----|----|----|-------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | | |
| 小学校 | 4 | 14 | 1 | 19 | 1,571 |
| 中学校 | 5 | 2 | 2 | 9 | 1,112 |
| 高校 | 1 | 1 | 1 | 3 | 74 |
| 大学 | 0 | 1 | 1 | 2 | 140 |
| 総計 | 10 | 18 | 5 | 33 | 2,897 |

3 分野・タイトル別実施数（人数）

| 〈富士山入門〉（担当：植野主幹・白鳥主査） | 学校 | 一般 | 小計 |
|-----------------------|----|----|----------------|
| 「世界遺産の富士山を学ぼう」 | 8 | 9 | 45 (3,330人) |
| 「富士山の自然と世界文化遺産」 | 12 | 4 | |
| 「世界遺産の富士山の歴史を学ぼう」 | 5 | 1 | |
| 「ふじさんってどんな山？（クイズ形式）」 | 3 | 1 | |
| 「世界遺産センターに行ってみよう」 | 0 | 2 | |

| 〈各論 文化：美術〉（担当：松島教授） | 学校 | 一般 | 小計 |
|---------------------|----|----|-------------|
| 「富士山のかたち、いろいろ」 | 0 | 2 | 7 (385人) |
| 「ふじさんを描いてみよう！」 | 1 | 1 | |
| 「描かれた富士山」 | 0 | 1 | |
| 「富士山と徳川将軍」 | 0 | 1 | |
| 「静岡学」 | 1 | 0 | |

| 〈各論 史学：歴史〉（担当：大高准教授） | 学校 | 一般 | 小計 |
|-----------------------|----|----|--------------|
| 「富士山の歴史を学ぶ」 | 0 | 5 | 10 (654人) |
| 「富士山と末代上人」 | 0 | 1 | |
| 「富士山の縁起とかぐや姫」 | 0 | 1 | |
| 「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」 | 1 | 0 | |
| 「世界遺産富士山と富士山世界遺産センター」 | 0 | 1 | |
| 「静岡を知る 静岡と世界遺産（富士山）」 | 1 | 0 | |

| 〈各論 文化：文学〉（担当：田代准教授） | 学校 | 一般 | 小計 |
|------------------------|----|----|----------------|
| 「古典文学と富士山」 | 1 | 4 | 7 (497人) |
| 「古典文学と三保松原」 | 0 | 1 | |
| 「古典文学と富士山～物語と富士山「竹取物語」 | 0 | 1 | |
| | | 総計 | 69 (4,866人) |

4 2018年度出前講座実施一覧

〈富士山入門〉

| 番号 | 開催日 | 団 体 | 分類 | 対象者 | 地区 | 人数 | タイトル |
|----|-------|--------------------|----|------|----|----|-------------------|
| 1 | 5月10日 | 浜松市 高台協働センター | 一般 | 高齢者 | 西部 | 40 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 2 | 5月10日 | 富士市 天間まちづくりセンター | 一般 | 高齢者 | 東部 | 30 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 3 | 5月14日 | 島田市立島田第一小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 70 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 4 | 5月16日 | 静岡市立由比中学校 | 学校 | 中学1年 | 中部 | 51 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 5 | 5月17日 | 富士市 岩松まちづくりセンター | 一般 | 高齢者 | 東部 | 30 | 「世界遺産センターに行ってみよう」 |

| 番号 | 開催日 | 団体 | 分類 | 対象者 | 地区 | 人数 | タイトル |
|----|-------|------------------------------|----|------------|----|-----|--------------------------|
| 6 | 5月21日 | 静岡市立城北小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 95 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 7 | 5月22日 | 沼津ユネスコ協会 | 一般 | 一般 | 東部 | 50 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 8 | 5月23日 | 浜松市 積志協働センター | 一般 | 高齢者 | 西部 | 30 | 「世界遺産の富士山の歴史を学ぼう」 |
| 9 | 5月29日 | 静岡市立南藁科小学校 | 学校 | 小学 4・5年 | 中部 | 41 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 10 | 6月11日 | 富士市 国際交流協会 | 一般 | 一般 | 東部 | 50 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 11 | 6月12日 | 静岡市立宮竹小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 108 | 「世界遺産の富士山の歴史を学ぼう」 |
| 12 | 6月14日 | 静岡県富士見中学校 | 学校 | 中学3年 | 東部 | 14 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 13 | 6月14日 | 焼津市 小川公民館 | 一般 | 一般 | 東部 | 120 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 14 | 6月19日 | 静岡市立清水辻小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 54 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 15 | 6月20日 | 富士市立高等学校 スポーツ探究科 | 学校 | 高校3年 | 東部 | 40 | 「世界遺産の富士山の歴史を学ぼう」 |
| 16 | 6月21日 | 静岡市立中島小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 87 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 17 | 6月22日 | 静岡市立井宮小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 93 | 「世界遺産の富士山の歴史を学ぼう」 |
| 18 | 6月25日 | 島田市立島田第四小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 95 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 19 | 6月26日 | 静岡県立藤枝北高校 | 学校 | 高校3年 | 中部 | 21 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 20 | 6月28日 | 浜松市立八幡中学校 | 学校 | 中学2年 | 西部 | 115 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 21 | 7月3日 | 静岡市立長田西小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 127 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 22 | 7月5日 | 富士宮市立富士根南中学校 | 学校 | 中学 1～3年 | 東部 | 400 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 23 | 7月10日 | 長泉町民図書館 | 一般 | 一般 | 東部 | 70 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 24 | 7月12日 | 焼津市 豊田公民館 | 一般 | 高齢者 | 中部 | 40 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 25 | 7月18日 | 御殿場市立朝日小学校 | 学校 | 小学生 | 東部 | 68 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 26 | 7月24日 | 袋井市東地区 上貫名シニアクラブ・下貫名老人クラブ | 一般 | 一般 | 西部 | 40 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 27 | 8月2日 | 大里児童クラブ | 学校 | 小学 1～3年 | 中部 | 70 | 「ふじさんってどんな山？ (クイズ形式)」 |
| 28 | 8月7日 | 堀之内小学校放課後児童クラブ | 学校 | 小学 1～3年 | 西部 | 70 | 「ふじさんってどんな山？ (クイズ形式)」 |
| 29 | 8月23日 | 焼津市大村公民館 | 一般 | 一般 | 中部 | 24 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |

| 番号 | 開催日 | 団体 | 分類 | 対象者 | 地区 | 人数 | タイトル |
|----|--------|------------------------------------|----|------------|----|-----|--------------------------|
| 30 | 9月7日 | 富士宮市立大富士中学校 | 学校 | 中学1年 | 東部 | 40 | 「世界遺産の富士山の歴史を学ぼう」 |
| 31 | 9月19日 | 焼津市 港公民館アザレア学級 | 一般 | 高齢者 | 中部 | 50 | 「世界遺産センターに行ってみよう」 |
| 32 | 9月20日 | 静岡市立東豊田小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 111 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 33 | 9月28日 | 焼津市立大井川南小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 92 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 34 | 10月19日 | 袋井市赤十字奉仕団 | 一般 | 一般 | 西部 | 30 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 35 | 10月31日 | 焼津市立黒石小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 137 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 36 | 11月1日 | 御殿場市立原里小学校 | 学校 | 小学6年 | 東部 | 103 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |
| 37 | 11月4日 | 静岡県立朝霧野外活動センター | 一般 | 一般 | 東部 | 100 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 38 | 11月15日 | 静岡県立浜松北高等学校 (定時制) | 学校 | 高校3年 | 西部 | 13 | 「世界遺産の富士山の歴史を学ぼう」 |
| 39 | 11月22日 | 御殿場市立東小学校 | 学校 | 小学6年 | 東部 | 66 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 40 | 1月21日 | 浜松市 曳馬協働センター 生きがいづくり教室「悠you倶楽部」 | 一般 | 高齢者 | 西部 | 40 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 41 | 1月22日 | 富士母親大会連絡会 | 一般 | 一般 | 東部 | 30 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 42 | 2月5日 | 静岡市立由比中学校 | 学校 | 中学2年 | 中部 | 60 | 「世界遺産の富士山を学ぼう」 |
| 43 | 2月20日 | 富士市立大淵第二小学校 | 学校 | 小 1～6年生 | 東部 | 39 | 「ふじさんってどんな山？ (クイズ形式)」 |
| 44 | 2月24日 | 223ウォーキング | 一般 | 小学校 低学年 | 東部 | 160 | 「ふじさんってどんな山？ (クイズ形式)」 |
| 45 | 2月28日 | 富士市立吉原北中学校 | 学校 | 中学1年 | 東部 | 116 | 「富士山の自然と世界文化遺産」 |

〈各論：文化（美術）〉

| 番号 | 開催日 | 団体 | 分類 | 対象者 | 地区 | 人数 | タイトル |
|----|-------|----------------------|----|------|----|----|----------------|
| 1 | 4月18日 | 静岡トヨタ自動車株式会社 | 一般 | 一般 | 中部 | 30 | 「富士山と徳川将軍」 |
| 2 | 5月25日 | 焼津市 豊田公民館 | 一般 | 高齢者 | 中部 | 40 | 「富士山のかたち、いろいろ」 |
| 3 | 7月13日 | 富士市 富士駅南まちづくりセンター | 一般 | 高齢者 | 東部 | 60 | 「富士山のかたち、いろいろ」 |
| 4 | 7月28日 | 静岡市立登呂博物館 | 一般 | 小学生～ | 中部 | 20 | 「ふじさんを描いてみよう！」 |
| 5 | 9月26日 | 富士宮市立中央図書館 | 一般 | 一般 | 東部 | 70 | 「描かれた富士山」 |
| 6 | 9月28日 | 静岡市立由比小学校 | 学校 | 小学5年 | 中部 | 45 | 「ふじさんを描いてみよう！」 |

| 番号 | 開催日 | 団体 | 分類 | 対象者 | 地区 | 人数 | タイトル |
|----|--------|----------|----|-----|----|-----|-------|
| 7 | 10月23日 | 静岡文化芸術大学 | 学校 | 大学生 | 西部 | 120 | 「静岡学」 |

〈各論：歴史（信仰）〉

| 番号 | 開催日 | 団体 | 分類 | 対象者 | 地区 | 人数 | タイトル |
|----|--------|---------------------------------|----|--------------|----|-----|---------------------------|
| 1 | 4月21日 | 富士山の自然を守る会 | 一般 | 会員 (一般市民) | 東部 | 60 | 「富士山の縁起とかぐや姫」 |
| 2 | 5月7日 | 富士宮ロータリークラブ | 一般 | 一般 | 東部 | 35 | 「富士山の歴史を学ぶ」 |
| 3 | 5月26日 | 明るい社会づくり運動 富士宮地区協議会 | 一般 | 一般 | 東部 | 100 | 「富士山の歴史を学ぶ」 |
| 4 | 5月27日 | 富士山と末代上人の会 | 一般 | 一般 | 東部 | 30 | 「富士山と末代上人」 |
| 5 | 6月7日 | 富士宮市立北山中学校 | 学校 | 中学生 | 東部 | 179 | 「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」 |
| 6 | 7月21日 | 静岡県医師信用組合 | 一般 | 一般 | 中部 | 100 | 「世界遺産富士山と 富士山世界遺産センター」 |
| 7 | 7月21日 | 静岡市立登呂博物館 | 一般 | 一般 | 中部 | 60 | 「富士山の歴史を学ぶ」 |
| 8 | 9月27日 | 折戸生涯学習交流館 社会教育 高齢者学級「さざんか教室」 | 一般 | 高齢者 | 中部 | 40 | 「富士山の歴史を学ぶ」 |
| 9 | 10月12日 | 東海大学短期大学部 | 学校 | 短大2年 | 中部 | 20 | 「静岡を知る 静岡と世界遺産（富士山）」 |
| 10 | 12月6日 | 一般社団法人 静岡法人会宗教法人部会 | 一般 | 一般 | 中部 | 30 | 「富士山の歴史を学ぶ」 |

〈各論：文学〉

| 番号 | 開催日 | 団体 | 分類 | 対象者 | 地区 | 人数 | タイトル |
|----|--------|----------------------|----|------|----|-----|----------------------------|
| 1 | 5月11日 | 御殿場市民交流センター | 一般 | 高齢者 | 東部 | 30 | 「古典文学と富士山」 |
| 2 | 9月29日 | 三保生涯学習交流館 | 一般 | 一般 | 中部 | 100 | 「古典文学と三保松原」 |
| 3 | 10月25日 | 富士市 富士駅北まちづくりセンター | 一般 | 高齢者 | 東部 | 100 | 「古典文学と富士山」 |
| 4 | 10月30日 | 磐田市立豊田中学校 | 学校 | 中学1年 | 西部 | 137 | 「古典文学と富士山」 |
| 5 | 11月3日 | 富士市立中央図書館 | 一般 | 一般 | 東部 | 50 | 「古典文学と富士山 ～物語と富士山「竹取物語」 |
| 6 | 12月5日 | 焼津市焼津公民館 | 一般 | 一般 | 中部 | 50 | 「古典文学と富士山」 |
| 7 | 12月13日 | 田子浦まちづくりセンター | 一般 | 一般 | 東部 | 30 | 「古典文学と富士山」 |

● 2-2-5 館内講座

1 概要

富士山について学ぶ機会の提供を目的として、富士山に係る最新の調査・研究及び、企画展示の見どころについて、一般の方々を対象に館内講座を実施した。毎月第3日曜日を開催基準日と設定し、多くの方々に参加していただいた。センターの研究者や外部の専門家と一般の方々が富士山を題材に、「広く交わる」有意義な講座を開催できた。

実績状況は以下の通りである。

2 実施状況

(1) 2017年度実績

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 人数 (名) |
|------------------|-------------|---------|-----------|
| 1月21日 | 「富士山の参詣曼荼羅」 | 大高康正准教授 | 41 |
| 2月23日 「富士山の日」 | 「富士山ってどんな山」 | 植野秀樹主幹 | 63 |
| 計 | | | 104 |

(2) 2018年度実績

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 人数 (名) |
|-----------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|
| 4月15日 | 「富士山絵画 百花繚乱」 | 松島仁教授 | 19 |
| 5月20日 | 「小林コレクションの古典籍」 | 田代一葉准教授 | 18 |
| 6月17日 | 「小林コレクションと須走口」 | 大高康正准教授 | 23 |
| 7月21日 | 「富士山に迫る」 | 松島仁教授 | 21 |
| 8月21日 「県民の日」 | 「すごいぞ！富士山 ～富士山がくれた自然の豊かさ～」 | ふじのくに地球環境史ミュージアム 山田和芳教授 | 28 |
| 9月16日 | 「富士山と伝説」 | 田代一葉准教授 | 14 |
| 10月20日 | 「富士山絵画1」 | 松島仁教授 | 17 |

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 人数 (名) |
|--------|----------------------|----------------------------|-----------|
| 11月18日 | 「富士山絵画2」 | 松島仁教授 | 12 |
| 12月16日 | 「富士山須走口速報展」 | 大高康正准教授 | 53 |
| 1月20日 | 「富士山の自然環境」 | ふじのくに地球環境史ミュージアム 岸本年郎教授 | 26 |
| 3月17日 | 「富士山に値段をつけると何円になるのか」 | 山梨県富士山科学研究所 藤野正也研究員 | 18 |
| 計 | | | 249 |



● 2-2-6 世界遺産セミナー

1 概要

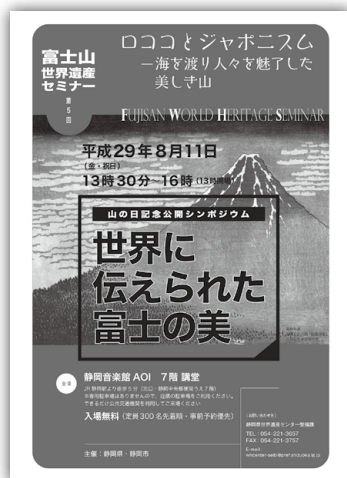
静岡県富士山世界遺産センターで実施している調査研究の成果を、広く社会に還元するため、年間2回、富士山世界遺産セミナーを開催した。

2017年度は御殿場市と静岡市、2018年度は小山町と裾野市と共催にて開催した。

(1) 2017年度開催実績

| 開催日 | 共催 | テーマ・内容 | 参加人数 |
|--------|-------------------------|---|------|
| 8月11日 | 静岡市 (静岡音楽館 AOI講堂) | 『世界に伝えられた富士の美』 静岡市と共催で開催し、葛飾北斎の富嶽三十六景等を題材に富士の美しさを講演した。 | 80人 |
| 10月14日 | 御殿場市 (御殿場市民 会館) | 『文学と富士山・富士登山』 古典文学の中における富士登山を中心に講演した。 | 40人 |

(静岡市におけるセミナーの様子)



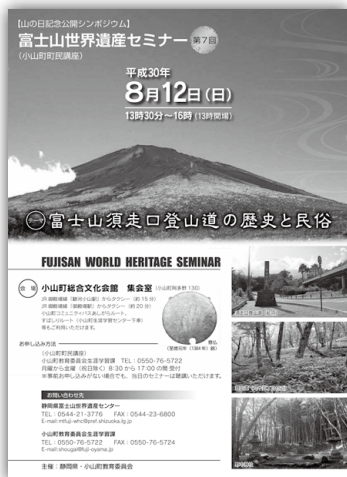
(御殿場市におけるセミナーの様子)



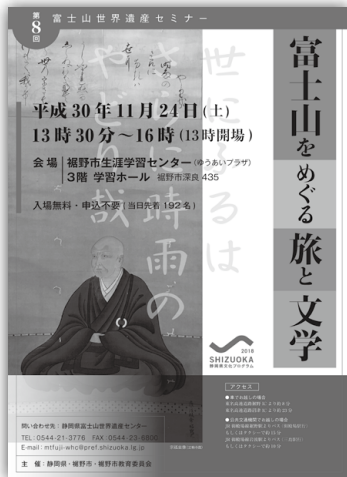
(2) 2018年度開催実績

| 開催日 | 共催 | テーマ・内容 | 参加人数 |
|--------|----------------------|---|------|
| 8月12日 | 小山町 (小山町総合文化会館) | 『富士山須走口登山道の歴史と民俗』 県・小山町が共同実施した須走口登山道調査に関連し、須走の歴史や民族について講演した。 | 50人 |
| 11月24日 | 裾野市 (裾野市生涯学習センター) | 『富士山をめぐる旅と文学』 裾野市にゆかりのある宗祇らの歌に詠まれた富士山について講演した。 | 40人 |

(小山町におけるセミナーの様子)



(裾野市におけるセミナーの様子)



● 2-2-7 世界遺産ニュースレター

1 概要

世界遺産ニュースレターは、「富士山」の世界文化遺産登録の気運醸成のため、世界文化遺産登録前の2007年11月に創刊した。

富士山世界遺産センターの開館後は、センターの紹介や登山状況を中心に富士山の後世継承のため情報提供を行なっている。

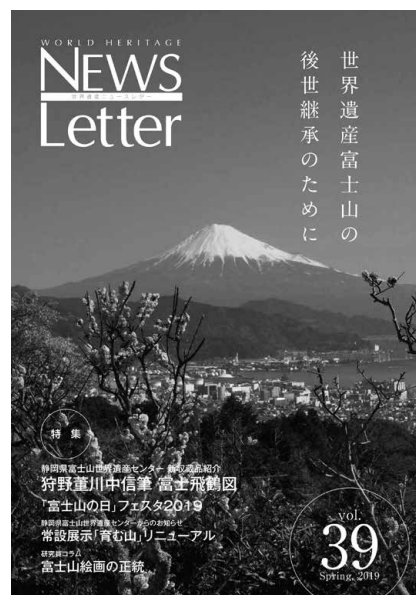
(1) 2017年度実績

| 紙面 | 頁 | 34号 (2017年7月) | 35号 (2017年12月) | 36号 (2018年3月) |
|------------------|----|------------------------------|-------------------------------|--|
| 紙 面 構 成 | 2面 | 夏山登山に向けて 建設工事進捗状況 | 館長あいさつ | 国際シンポジウム 特集 |
| | 3面 | 整備課からのお知らせ ボランティア 出前講座 | 富士山世界遺産センター開 館特集 企画展示紹介 | 富士山世界遺産センターか らのお知らせ 三保松原保全 L字突堤への取組 |
| | 4面 | 研究員コラム(松島准教授) | 夏山登山の状況 | 研究員コラム(大高准教授) |



(2) 2018年度実績

| 紙面構成 | 頁 | 37号 (2018年7月) | 38号 (2018年12月) | 39号 (2019年3月) |
|------|----|------------------|-------------------|------------------|
| | 2面 | 夏山登山 | 開館1周年 | 富士山の日 |
| | 3面 | 世界遺産センターからのお知らせ | 協力金の状況 夏山登山の状況 | 世界遺産センターからのお知らせ |
| | 4面 | 研究員コラム (田代准教授) | 研究員コラム (大高准教授) | 研究員コラム (松島教授) |



● 2-2-8 ホームページおよびFacebook紹介

静岡県富士山世界遺産センターでは、インターネットにおける情報発信の手段としてホームページおよびfacebookを使用している。

ホームページでは主に、企画展やイベントの情報を、facebookでは主に、イベント開催実績などタイムリーな出来事を発信した。

ホームページアドレス：<https://mtfuj-whc.jp/>

Facebook アドレス：<https://www.facebook.com/TheFujisanWHC/?fref=ts>

※ホームページアクセス数：2017年度 95,966回、2018年度 329,662回



静岡県富士山世界遺産センター Mt. Fuji World Heritage Centre

センター 企総課 ホーム 友達を検索 作成

97

ページ 受信箱 21 お知らせ 99+ インサイト 投稿ツール 広告セ... その他

設定 2 ヘルプ



静岡県富士山世界遺産センター Mt. Fuji World Heritage Centre, Shizuoka @TheFujisanWHC

ホーム

ページ情報

写真

イベント

動画

投稿



センター 企総課さん、すぐに使える仕事用ツールを試してみましよう

WorkplaceはFacebookのコミュニティとよく似た、静岡県富士山世界遺産センター Mt. Fuji World Heritage Centre, Shizuokaでの効率的な共同作業の場として利用できる仕事用のスペースです。

Walmart、Nestlé、Air Asia、他30,000社以上がWorkplaceを使用しています。

Workplaceを無料ダウンロード



いいね!

フォローする

シェア

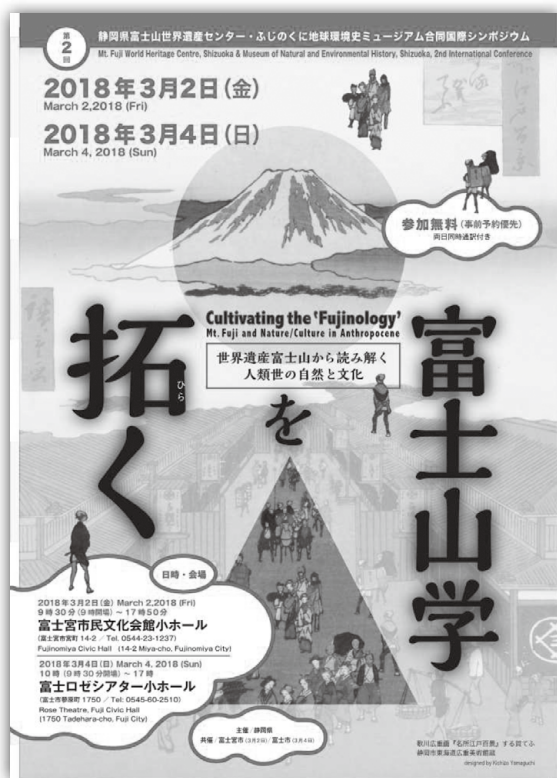
ボタンを追加

2-3 広く交わる

2-3-1 国際シンポジウム

1 概要

第2回静岡県富士山世界遺産センター・ふじのくに地球環境史ミュージアム合同シンポジウムとして、国際シンポジウムを以下のとおり開催した。



タイトル：「富士山学を拓く～世界遺産富士山から読み解く人類世の自然と文化～」

開催日：2018年3月2日～2018年3月4日まで（3日はエクスカージョン）

開催場所：3月2日 富士宮市民文化会館小ホール

3月3日 世界遺産富士山構成資産等（視察）

3月4日 富士市文化会館ロゼシアター小ホール

内容：

人文科学・自然科学を横断する課題—人類世（Anthropocene）、そしてその成立に強い影響を与えた人類の移動というファクターを踏まえ、「移動と人類世～移住、巡礼、遺産～」 「東西文化交渉のなかの富士山イメージ」 「富士山を取り巻く環境の過去、現在、未来」の3部から富士山学構築の可能性を拓き、そのうえで富士山研究・世界遺産研究の分野に多大な貢献をされてきた国内外の研究者による講演、静岡県富士山世界遺産センター研究員による「信仰の対象」「芸術の源泉」に関する最新の調査研究成果報告を行いことで、富士山学研究的現状を提示した。

● 3月2日 専門セッション

セッション1 「移動と人類世～移住、巡礼、遺産～」

セッション2 「東西文化交渉のなかの富士山イメージ」

セッション3 「富士山を取り巻く環境の、過去、現在、未来」

● 3月3日 エクスカーション

山宮浅間神社、白糸の滝、村山浅間神社の構成資産等を視察

● 3月4日 公開シンポジウム

特別講演 ヤツェク・プルフラ（国際文化センター所長）「世界遺産条約～新しいチャレンジ～」

川勝 平太（静岡県知事）「ガーデン・アイランズ日本～山川草木国土悉皆芸術～」

基調講演 ロナルド トビ（イリノイ大学）「富士山国際化の前史～江戸期の言説を中心に～」

小山真人（静岡大学）「火山がつくった世界遺産・富士山」

講演 テーマ 「富士山学研究の最前線」

大高康正准教授「新しい富士講像の構築」

田代一葉主任研究員「富士山と“見立て”」

葦津敬之（宗像大社宮司）「世界文化遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」



● 2-3-2 視察受入

1 概要

2017年度及び2018年度は、開館直後の話題性も高く、数多くの視察依頼があり、各国大使や、国会議員、各県知事、市長、各地方自治体の議員の他、各自治体の世界遺産関係部署や観光部署及び施設運営関連部署等からの行政視察、建築関係及び観光関係等の民間企業や各種団体からの視察を含め、期間中165件、2,269人受入れた。

(1) 件数

(単位：件)

| | 行政・議会 | | | | | | | 民間 | その他団体 | 合計 |
|-------|-------|------|----|----|-------|---------|-----|----|-------|-----|
| | 静岡県 | 県内市町 | 国 | 他県 | 海外(国) | 海外(自治体) | 合計 | | | |
| 12月計 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| 1月計 | 2 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 7 | 0 | 3 | 10 |
| 2月計 | 2 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 10 | 0 | 7 | 17 |
| 3月計 | 1 | 5 | 2 | 2 | 1 | 0 | 11 | 1 | 8 | 20 |
| 2017計 | 6 | 12 | 5 | 8 | 1 | 0 | 32 | 1 | 18 | 51 |
| 4月計 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 5月計 | 7 | 2 | 0 | 5 | 1 | 0 | 15 | 0 | 2 | 17 |
| 6月計 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 5 | 1 | 1 | 7 |
| 7月計 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 | 0 | 3 | 8 |
| 8月計 | 2 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 7 | 0 | 2 | 9 |
| 9月計 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 1 | 7 |
| 10月計 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 6 | 1 | 3 | 10 |
| 11月計 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 6 | 12 |
| 12月計 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 7 | 1 | 3 | 11 |
| 1月計 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 5 | 0 | 4 | 9 |
| 2月計 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 6 | 0 | 6 | 12 |
| 3月計 | 2 | 2 | 0 | 2 | 1 | 1 | 8 | 0 | 1 | 9 |
| 2018計 | 23 | 14 | 9 | 21 | 4 | 6 | 77 | 5 | 32 | 114 |
| 合計 | 29 | 26 | 14 | 29 | 5 | 6 | 109 | 6 | 50 | 165 |

(2) 人数

(単位：人)

| | 行政・議会 | | | | | | | 民間 | その他団体 | 合計 |
|-------|-------|------|-----|-----|-------|---------|-------|----|-------|-------|
| | 静岡県 | 県内市町 | 国 | 他県 | 海外(国) | 海外(自治体) | 合計 | | | |
| 12月計 | 2 | 0 | 0 | 14 | 0 | 0 | 16 | 0 | 0 | 16 |
| 1月計 | 16 | 25 | 0 | 28 | 0 | 0 | 69 | 0 | 81 | 150 |
| 2月計 | 27 | 172 | 9 | 24 | 0 | 0 | 232 | 0 | 135 | 367 |
| 3月計 | 3 | 49 | 5 | 8 | 7 | 0 | 72 | 15 | 216 | 303 |
| 2017計 | 48 | 246 | 14 | 74 | 7 | 0 | 389 | 15 | 432 | 836 |
| 4月計 | 9 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 11 |
| 5月計 | 41 | 53 | 0 | 29 | 5 | 0 | 128 | 0 | 17 | 145 |
| 6月計 | 0 | 14 | 10 | 4 | 0 | 5 | 33 | 41 | 45 | 119 |
| 7月計 | 0 | 0 | 0 | 26 | 0 | 0 | 26 | 0 | 74 | 100 |
| 8月計 | 4 | 0 | 27 | 33 | 0 | 0 | 64 | 0 | 16 | 80 |
| 9月計 | 4 | 20 | 27 | 0 | 0 | 0 | 51 | 11 | 15 | 77 |
| 10月計 | 13 | 16 | 20 | 30 | 6 | 0 | 85 | 3 | 62 | 150 |
| 11月計 | 35 | 17 | 0 | 0 | 0 | 13 | 65 | 4 | 106 | 175 |
| 12月計 | 20 | 10 | 2 | 20 | 4 | 0 | 56 | 20 | 20 | 96 |
| 1月計 | 23 | 10 | 0 | 27 | 0 | 0 | 60 | 0 | 41 | 101 |
| 2月計 | 2 | 60 | 12 | 0 | 0 | 28 | 102 | 0 | 163 | 265 |
| 3月計 | 41 | 13 | 0 | 13 | 10 | 12 | 89 | 0 | 25 | 114 |
| 2018計 | 192 | 215 | 98 | 182 | 25 | 58 | 770 | 79 | 584 | 1,433 |
| 合計 | 240 | 461 | 112 | 256 | 32 | 58 | 1,159 | 94 | 1,016 | 2,269 |

2-4 永く守る

2-4-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成

1 概要

静岡県認定富士山世界遺産ガイドは、世界遺産「富士山」の顕著な普遍的価値及びその適切な保存管理について理解を深め、案内することができることを目的とし、2012年度に発足し、2015年度までの4年間にわたって養成講座を7回実施して、247名が修了した。その後、登録更新希望者を対象に2年毎の更新講座を実施し、その際の確認で55名が登録を辞退・抹消（逝去等）となり、2018年度末の登録者は192名である。

2 活動内容

- ・各構成資産における来訪者へのガイド
- ・教育機関、旅行業者等の依頼に基づいた添乗ガイド
- ・富士山をテーマとする各種講座等における講師
- ・富士山の価値や適切な保存管理の普及のための活動



(更新講座の様子)

3 更新講座

世界遺産ガイドの知識レベルやモチベーションの維持・向上を目的として更新講座を実施している。2017年度（2013・2015年度修了生対象）、2018年度（2012・2014年度修了生対象）には、下表の日程で実施し、「世界遺産に係る講義」、「文化的価値に係る講義」、「情報交換」を行なった。

| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 |
|--------|--|--|---|--|
| 二〇一七年度 | 2017年7月15日(土) 参加者：43名 ・世界遺産保存管理の状況 ・センター概要説明 ・「文学作品に見る富士山」 ・情報交換会 | 2018年1月31日(水) 参加者：34名 ・世界遺産保存管理の状況 ・センター概要説明 ・「富士山のかたち、いろいろ」 ・情報交換会 | 2018年2月2日(金) 参加者：23名 ・世界遺産保存管理の状況 ・センター概要説明 ・「富士山のかたち、いろいろ」 ・情報交換会 | |
| 二〇一八年度 | 2018年7月25日(水) 参加者：38名 ・センター概要と来館者の状況 ・企画展示解説 「富士山に迫る －谷文晁筆「富士山中真景全図」と新出の富士山真景図－ ・情報交換会 | 2018年10月6日(土) 参加者：21名 ・センター概要と来館者の状況 ・企画展示解説 「富士山絵画の正統～シリーズ－江戸文化の中の富士山Ⅰ」 ・情報交換会 | 2019年1月26日(土) 参加者：11名 ・センター概要と来館者の状況 ・企画展示解説 「富士山と須走口～須走口登山道調査速報展～」 ・情報交換会 | 2019年3月6日(水) 参加者：16名 ・センター概要と来館者の状況 ・企画展示解説 『ふるさと富士と「可視マップ」～眺めて楽しむ「見力の山」富士山』 ・情報交換会 |

● 2-4-2 サポートボランティア制度

1 概要

県民・地域が、静岡県富士山世界遺産センターの日々の活動を支え、来館者とセンター、地域とセンターを結ぶ架け橋として活動する組織として、センターに設けた。

説明会、研修会を受講した140名がサポートボランティアとして正式に登録し、2017年12月23日の開館日から活動を始めた。高校生・大学生から80代までの幅広い年齢層で構成され、富士山とセンターを誇りに持ったメンバーが笑顔で来館者を迎えている。

2 活動内容

(1) 運営補助グループ

- ・入場についての人員整理誘導
- ・スロープへの誘導
- ・外国語対応
- ・展望フロアでの誘導
- ・各展示室への誘導
- ・シアター出入りの誘導
- ・企画展示室への誘導

(2) 教育普及グループ

- ・館内講座等運営補助
- ・センターからの発行物等の袋詰め作業（館内講座等のチラシ、準備物等作成）
- ・シアターを中心に運営補助

(3) ライブラリーグループ

- ・富士山ライブラリーの司書補助（図書データ打ち込み補助、書籍管理）
- ・ライブラリーの整理・整頓
- ・富士山へのメッセージ掲示
- ・AV資料のクリーニング等
- ・研究員の調査・研究に関する資料整理補助

(4) 環境美化グループ

- ・館内外の環境整備補助
- ・植込整備、雑草除去



3 施設・組織・予算

3-1 センター施設概要

1 建物概要

| | |
|--------------|--|
| 名 称 | 静岡県富士山世界遺産センター Mt.FUJI WORLD HERITAGE CENTRE, SHIZUOKA |
| 敷地面積 | 6,086.7㎡ |
| 延床面積 | 3,410.98㎡ |
| 構 造 | 鉄骨造（5階建て） |
| 設 計 | 株式会社坂茂建築設計 |
| 施 工 | 建 築 佐藤工業・若杉組特定建設工事共同企業体 電 気 住友・三和特定建設工事共同企業体 機 械 須賀・遠藤特定建設工事共同企業体 防音壁 株式会社若杉組 収蔵庫 金剛株式会社 外 構 佐藤工業株式会社静岡営業所 さく井 土屋産業株式会社 サイン 株式会社若杉組 |
| 展示設計・施工 | 株式会社丹青社 |
| 西棟左官造作・富士塚制作 | 挟土 秀平（職人社秀平組） |
| スロープ壁面描画 | 島倉 二千六（アトリエ雲） |

富士ヒノキの木格子の外壁を持つ建物は「逆さ富士」を表現し、前面の水盤に映り込むと「富士山」の姿が現れる。水面に映る富士山は、内部に豊富な湧水をたたえた「水の山」としての富士山を象徴的に表している。

富士山の湧水を館内に取り込み、空調熱源として利用した後、水盤に利用し、富士の水の循環を建築的にも表現している。



3 施設概要

所在地 静岡県富士宮市宮町5-12
 電話番号 0544-21-3776
 FAX番号 0544-23-6800
 営業時間 9:00~17:00 (7、8月は18:00)

(最終入館は閉館の30分前)

休館日 毎月第3火曜日、施設点検日

観覧料 300円 (団体割引あり)

70歳以上、大学生以下、障害者等は無料 (要証明)

企画展は別途料金を設定

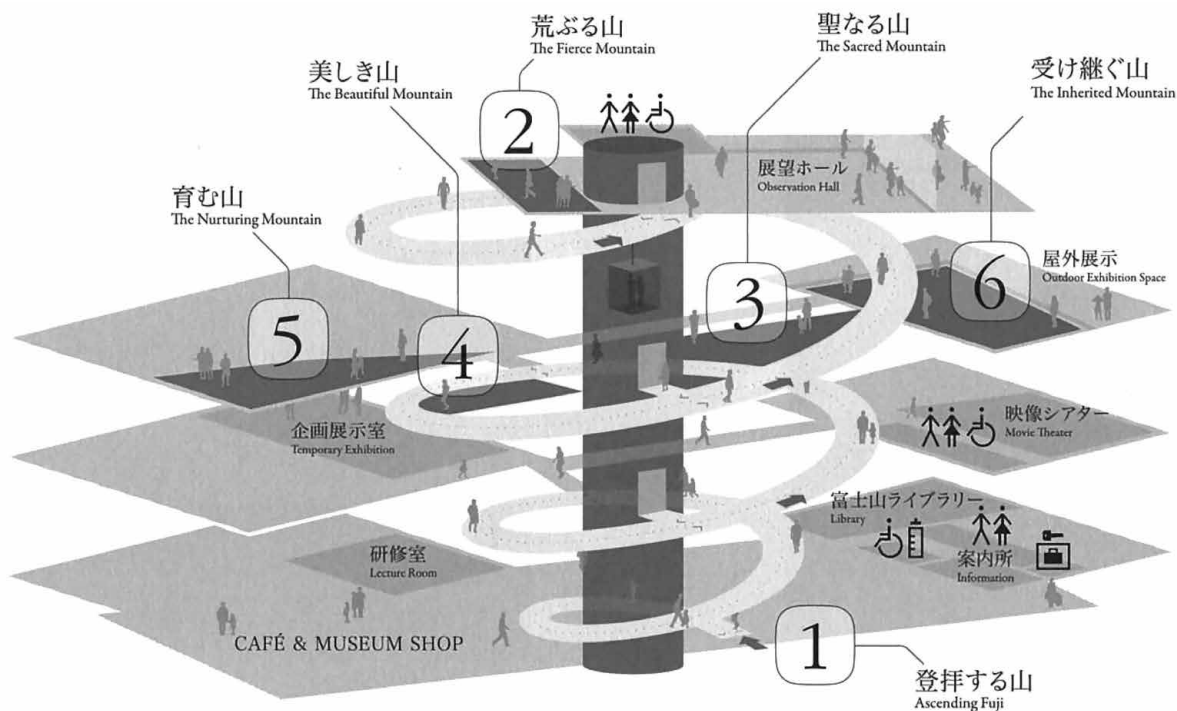
アクセス JR身延線富士宮駅から徒歩8分

新東名高速道路新富士ICから約10分

東名高速道路富士ICから約15分



フロアマップ



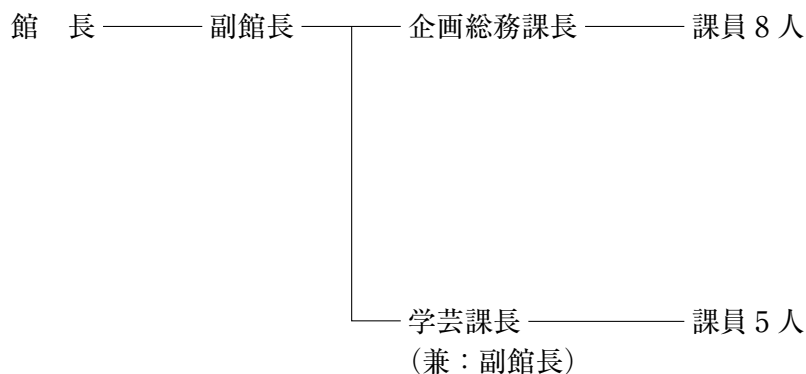
この施設では、スロープを上りながら富士登山を感じ、本物の富士山に出会い、世界遺産「富士山」について学ぶ、「富士山」を満喫する体験を提供している。

展示については、「富士山の総合的、学際的、国際的な研究活動を展開していく中で、各コーナーが有機的につながりあう展示」「世界からの来館者を感化する展示」をテーマとしています。

3-2 職員紹介

1 組織図・職員（2017年度）

〈組織図〉



| | |
|----|----|
| 課長 | 1人 |
| 班長 | 1人 |
| 主査 | 4人 |
| 主任 | 1人 |
| 主事 | 1人 |

| | |
|--------|----|
| 課長（兼務） | 1人 |
| 教授 | 2人 |
| 准教授 | 2人 |
| 主任研究員 | 1人 |

職員数計 15人

（その他非常勤職員）

| 職名 | 人数 |
|--------|----|
| 非常勤嘱託員 | 3人 |

〈職員〉

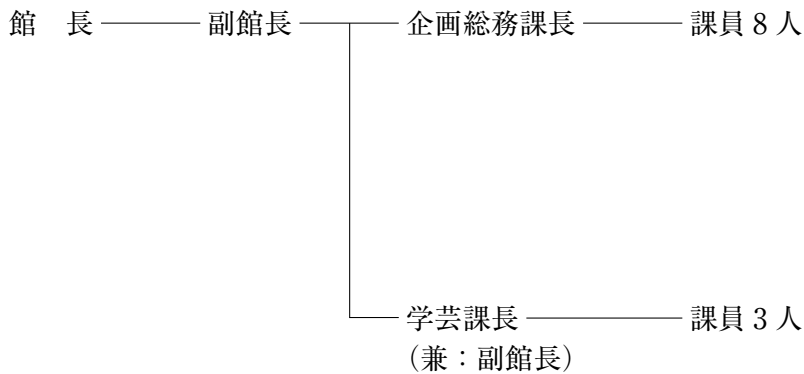
| | |
|----------|-------|
| 館長 | 遠山 敦子 |
| 副館長 | 落合 徹 |
| 企画総務課長 | 鈴木 典之 |
| 企画総務班長 | 服部 広輝 |
| 企画総務課主査 | 池ヶ谷達也 |
| 企画総務課主査 | 木村美奈子 |
| 企画総務課主任 | 出野 達也 |
| 企画総務課主事 | 大湖 羽純 |
| 企画総務課主査 | 植野 秀樹 |
| 企画総務課主査 | 白鳥 稔 |
| 学芸課准教授 | 松島 仁 |
| 学芸課准教授 | 大高 康正 |
| 学芸課主任研究員 | 田代 一葉 |
| 非常勤職員 | 遠藤 香澄 |
| | 渡邊 敦美 |
| | 渡邊 美紀 |

※年度中退職者

| | |
|-------|---------|
| 学芸課教授 | 内山 純蔵 |
| 学芸課教授 | ハドソンマーク |

2 組織図・職員（2018年度）

〈組織図〉



| | |
|----|----|
| 課長 | 1人 |
| 班長 | 1人 |
| 主幹 | 1人 |
| 主査 | 2人 |
| 主任 | 1人 |
| 主事 | 2人 |

| | |
|--------|------|
| 課長（兼務） | （1人） |
| 教授 | 1人 |
| 准教授 | 2人 |

職員数計 13人

（その他非常勤職員）

| 職名 | 人数 |
|--------|----|
| 非常勤嘱託員 | 3人 |

〈職員〉

| | |
|---------|-------|
| 館長 | 遠山 敦子 |
| 副館長 | 落合 徹 |
| 企画総務課長 | 小野 一 |
| 企画総務班長 | 服部 広輝 |
| 企画総務課主査 | 木村美奈子 |
| 企画総務課主任 | 宇佐美綾乃 |
| 企画総務課主事 | 加藤 慎也 |
| 企画総務課主事 | 大湖 羽純 |
| 企画総務課主幹 | 植野 秀樹 |
| 企画総務課主査 | 白鳥 稔 |
| 学芸課教授 | 松島 仁 |
| 学芸課准教授 | 大高 康正 |
| 学芸課准教授 | 田代 一葉 |
| 非常勤職員 | 遠藤 香澄 |
| | 渡邊 敦美 |
| | 渡邊 美紀 |

3-3 予算概要

1 基本構想・基本計画策定費

- (1) 基本構想策定費 3,462千円
 (2) 基本計画策定費 8,058千円

2 富士山世界遺産センター整備費

(単位：千円)

| | 予算額 | 決算額 | 備 考 |
|------|-----------|-----------|---|
| 建設工事 | 2,820,260 | 2,673,319 | 建築・機械・電気工事 (2015-2017年度債務) |
| 外構工事 | 265,763 | 264,600 | |
| 付帯工事 | 106,858 | 109,924 | ・防音壁設置工事 (2016年) ・井戸工事 (2016年) ・収蔵庫整備工事 (2016年-2017年) ・サイン、植栽、フェンス、ロールスクリーン工事他 (2017年) |
| 小計 | 3,192,881 | 3,047,843 | |
| 展示委託 | 973,080 | 943,056 | |
| 備品等 | 134,039 | 70,274 | |
| 計 | 4,300,000 | 4,061,173 | |

3 富士山世界遺産センター管理運営事業費 (2018年度)

歳出の部

(単位：千円)

| 項 目 | 予算額 | 決算額 | 内 容 | |
|---------|---------|---------|-----------------------------|----------------------------------|
| 究める | 調査研究 | 16,221 | 9,878 | 巡礼路調査、分野別研究 |
| | 資料収集 | 18,924 | 16,936 | 収蔵品購入、デジタルデータベースの構築 |
| 伝える・交わる | 教育普及 | 3,000 | 1,887 | 世界遺産セミナー、館内講座、出前講座の実施 |
| | 展 示 | 78,330 | 75,217 | 常設展示の更新、企画展の開催 |
| | 情報発信 | 4,668 | 3,854 | ホームページ、デジタルサイネージ、ニュースレター等様々な情報発信 |
| 守る | 人材養成 | 565 | 134 | 世界遺産ガイドのスキルアップ講座 |
| 維持管理 | 119,955 | 101,478 | 光熱水費、接遇スタッフ、設備運転、清掃、定期点検 ほか | |
| 事務費 | 21,337 | 19,727 | 非常勤職員人件費、消耗品費、印刷費、職員旅費 ほか | |
| 歳出計 | 263,000 | 229,111 | | |

歳入の部

(単位：千円)

| 項 目 | 予算額 | 決算額 | 内 容 |
|-------|--------|--------|---------------|
| 観覧料収入 | 26,669 | 60,674 | 常設展観覧料、特別展観覧料 |
| その他収入 | 5,527 | 5,830 | 庁舎貸付料、物品貸付料等 |
| 歳入計 | 32,196 | 66,504 | |

4 資料

4-1 入館者数データ

2017年度・2018年度月間入場者数推移

(単位：人)

| 年 | 月 | 全体 | 入場券発券数 | | | | | | 計 |
|----------|------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | | | 一般 | 団体 | 小人 | 学生 | 高齢者 | その他 | |
| 2017 | 12月計 | 10,305 | 5,438 | 81 | 1,317 | 251 | 1,686 | 266 | 9,039 |
| 2018 | 1月計 | 61,159 | 33,621 | 2,257 | 5,744 | 1,201 | 9,566 | 1,963 | 54,352 |
| 2018 | 2月計 | 42,785 | 18,459 | 4,262 | 2,667 | 981 | 6,716 | 4,967 | 38,052 |
| 2018 | 3月計 | 51,356 | 21,457 | 5,553 | 4,562 | 1,560 | 9,963 | 1,799 | 44,894 |
| 2018 | 4月計 | 46,141 | 17,927 | 4,034 | 3,008 | 1,757 | 9,842 | 1,667 | 38,235 |
| 2018 | 5月計 | 47,861 | 19,422 | 3,194 | 3,932 | 836 | 10,892 | 1,766 | 40,042 |
| 2018 | 6月計 | 37,059 | 11,350 | 4,426 | 2,227 | 505 | 10,067 | 1,225 | 29,800 |
| 2018 | 7月計 | 38,772 | 13,082 | 4,216 | 3,401 | 956 | 6,545 | 968 | 29,168 |
| 2018 | 8月計 | 45,521 | 18,887 | 2,859 | 5,910 | 1,692 | 4,009 | 2,411 | 35,768 |
| 2018 | 9月計 | 34,981 | 11,748 | 4,309 | 1,990 | 943 | 6,312 | 1,185 | 26,487 |
| 2018 | 10月計 | 39,693 | 11,429 | 4,338 | 2,308 | 566 | 11,179 | 1,225 | 31,045 |
| 2018 | 11月計 | 43,763 | 12,229 | 7,135 | 1,594 | 520 | 12,875 | 1,342 | 35,695 |
| 2018 | 12月計 | 20,158 | 6,836 | 2,513 | 1,073 | 366 | 3,384 | 517 | 14,689 |
| 2019 | 1月計 | 39,968 | 18,158 | 2,647 | 2,812 | 936 | 5,962 | 1,034 | 31,549 |
| 2019 | 2月計 | 26,740 | 7,860 | 2,903 | 1,062 | 517 | 3,305 | 5,491 | 21,138 |
| 2019 | 3月計 | 31,409 | 11,155 | 3,321 | 2,214 | 980 | 5,389 | 837 | 23,896 |
| 2017年度累計 | | 165,605 | 78,975 | 12,153 | 14,290 | 3,993 | 27,931 | 8,995 | 146,337 |
| 2018年度累計 | | 452,066 | 160,083 | 45,895 | 31,531 | 10,574 | 89,761 | 19,668 | 357,512 |
| 総累計 | | 617,671 | 239,058 | 58,048 | 45,821 | 14,567 | 117,692 | 28,663 | 503,849 |

4-2 2017年度・2018年度の休館日

センターの休館日は、毎月第三火曜日、施設点検日、年末年始と定めている。

2017年度・2018年度における休館日は以下のとおりである。

(1) 2017年度

〈毎月第三火曜日〉 1月16日、2月20日、3月20日

〈施設点検日〉 なし

〈年末年始〉 12月29日～12月31日

(2) 2018年度

〈毎月第三火曜日〉4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、8月20日、9月18日、10月17日、
11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、3月19日

〈施設点検日〉6月27日～6月29日、11月26日～29日

〈年末年始〉12月27日～12月31日

※なお、次年度以降の休館日については定まり次第HPにて公表している。

4-3 報道実績

1 概要

静岡県富士山世界遺産センターは、開館前からの期待も高く開館月に当たる2017年12月は、新聞やテレビにて大きく報道された。

開館後は、新聞報道を中心に、旅行番組や情報番組によるテレビ報道や旅行雑誌や各種情報誌など多方面にて紹介されてきた。

特に、開館1周年記念イベントや来館者数10万人、30万人、50万人達成の記念セレモニー、企画展・特別展開催時には、話題性も高く、広く報道されている。

報道実績一覧表【センター独自集計による】

| | 新聞 | テレビ (県内ニュース) | テレビ (その他) | 雑誌 | 合計 |
|----------|-----|-----------------|--------------|----|-----|
| 2017年12月 | 45 | 15 | 0 | 0 | 60 |
| 2018年1月 | 5 | 1 | 3 | 2 | 11 |
| 2月 | 15 | 9 | 5 | 2 | 31 |
| 3月 | 14 | 1 | 5 | 4 | 24 |
| 2017年度計 | 79 | 26 | 13 | 8 | 126 |
| 2018年4月 | 6 | 1 | 1 | 4 | 12 |
| 5月 | 4 | 2 | 2 | 1 | 9 |
| 6月 | 4 | 0 | 3 | 3 | 10 |
| 7月 | 11 | 5 | 3 | 1 | 20 |
| 8月 | 6 | 2 | 1 | 6 | 15 |
| 9月 | 5 | 3 | 3 | 2 | 13 |
| 10月 | 2 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| 11月 | 7 | 0 | 3 | 2 | 12 |
| 12月 | 11 | 3 | 4 | 4 | 22 |
| 2019年1月 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 |
| 2月 | 5 | 2 | 4 | 1 | 12 |
| 3月 | 1 | 0 | 1 | 5 | 7 |
| 2018年度計 | 62 | 18 | 28 | 33 | 141 |
| 合計 | 141 | 44 | 41 | 41 | 267 |

※テレビ（その他）は、県内ニュースを除く県内情報番組及び全国番組での放映回数



テラファットで開館をうらめしむ「2017年11月31日」 富士宮町の県富士山世界遺産センター

華やかに開館記念式典

県富士山世界遺産センター

は、仮囲いが取れたとき市民の皆さんが喜んでくれたこと。『すてきたね』『きれいだね』の声は何よりだった」と笑顔を見せた。

その後、出席者は館内を見学。五階の展望ホールから望む富士山に「雲一つなすはらしい」と感嘆の声が上が

知事は「最高です」と一言。最高の作品ができた。外から見てもきれいだ、中に入っても外見より規模感があり充実している」と絶賛。遠山館長はカエルの名言をもじり「来た、見た、よかったです」と言ってもらえるセンターでありたい。富士山のまわりや世界中の宝、その宝の意味を伝えていきたい」など、意気込みを語った。

式典後、取材に応じた川勝 (前田朋子)



富士山世界遺産センターの開館でテラファットですぐに現れる富士山の映像



「世界の宝伝える施設に」 県富士山世界遺産センター。式典で建築のコンセプトを語り、遠山敦子館長は、ヒノキ材で逆さ富士を組み上げた外観を行なった。関係者らおよそ二百六十人が参加し、センター正面の水盤上に設けられたステージで、設計した世界的建築家の坂茂さんや川勝平太知事がテラファットし

富士山の価値後世に

富士山「センター」開館式典

世界遺産富士山の情報発信・学術研究拠点となる県富士山世界遺産センター(富士宮市)が、11月22日、開館式典を開催した。開館式典は、開館を前に、開館式典が開かれた。23日は、地元自治体の関係者約200人が集い、富士山の普遍的価値を後世に継承する新テナシボルルの完成を祝った。

2017年12月22日 静岡新聞

2017年12月23日 東京新聞



富士山世界遺産センター 10万人達成

世界遺産センター来館10万人

開館から2カ月で達成

喜数が延べ10万人に達した。一層の来館増は、浜松市南区から訪ねた。この達成を記念し、開館式典を開催した。開館式典は、開館を前に、開館式典が開かれた。23日は、地元自治体の関係者約200人が集い、富士山の普遍的価値を後世に継承する新テナシボルルの完成を祝った。

「富士山の日」特集



富士山世界遺産センター 30万人達成

世界遺産センター来館者 年間目標30万人到達

10万人、4月23日に20万人突破、1日平均約1,200人、土日約5,000人と開館当初から予想以上の集客を推移している。遠山館長は「半年少の達成で、来館者にお礼の言葉を改めたい。展示に新しいものを取り入れた」と話した。

2018年7月3日 静岡新聞

県富士山世界遺産センター 来館者50万人到達

遠山館長が号想を
上回る来館者に感謝し
ついでに「一度来て終わ
りてなく、さまざまに
工夫をし多くの人に
長く愛されるセンター
に今後を見据え、
(富士宮市・白柳一
樹)

富士宮市の県富士山 50万人目となったのを受け取った加藤啓さんは「初めての来館で、間近に見る富士山に感動した」と喜びを語った。

世界遺産センターは1日、愛知県清海市から日延べ来館者が50日帰りで訪れた会社員万人に到達し、同センター加藤啓太さん(41)家族ターで記念セミナー4人。開館して30万人を突破する。逆さ富士を模した独特の施設外観(富士山のイメージ)で来館者を迎える。2017年12月23日、共演が楽しめる晴天に日の開館から1年を前に、恵まれた。遠山敦子館長から花束と記念品を贈った。

遠山敦子館長(左)から花束を受ける加藤啓太さん(左から2人目) 家族ら=1日午前、富士宮市の県富士山世界遺産センター

遠山館長が号想を上回る来館者に感謝しついでに「一度来て終わりてなく、さまざまに工夫をし多くの人に長く愛されるセンターに今後を見据え、(富士宮市・白柳一樹)」

遠隔地からの来訪増

県富士山世界遺産センターは1日、9月20日、11月13日に実施した2回目の来訪者アンケートの結果を発表した。開館後の1〜2月に行った1回目との比較で、県外や県西部など遠隔地からの来訪者の割合が増加している傾向が示された。

1回目(日本語のみ)のアンケートで15日間実施し、総人数は420人。2回目は日本語と英語で行い、54日間と総人数は436人。1回目は県外来訪者近では地方都市にも広げた割合が全体の17%だったのに対し、2回目

は31%、県西部も8%から13%に伸びた。県外からの割合が4%から11%、関西が7%から13%に増えた。県内での宿泊については1回目の「宿泊予定は11%」に対し、2回目は24%。交通手段の割合は観光バスが5%から26%に増加、車は74%から47%に減少した。

落合徹副館長は「当初は大都市圏からのツアーが多かったが、最近では地方都市にも広げた割合が全体の17%だったのに対し、2回目

2018年12月2日 静岡新聞

富士山画中心に 本格的な美術展

県世界遺産センター

昨年未だオープンした県富士山世界遺産センター(富士宮市)で、初めての「本格的な美術展」富士山に「迫る」が開かれている。谷文晁の大作「富士山中真景全図」(1795年)などの富士山画を中心に、17点を展示している。26日まで。

富士山中真景全図は富士登山の過程を計34図で描いた全長12巻の絵巻で、同センターが新たに購入し、収蔵品に加えた。作品の冒頭には11代將軍徳川家斉の筆による「妙技」との評と花押が記されている。絵巻は一度には全体を広げられないため、期間中、3回に分けて展示するという。常設展観覧料300円で鑑賞できる。

(六分一真史)

「富士山中真景全図」の一部=県富士山世界遺産センター提供

2018年8月7日 朝日新聞

狩野派の富士山画12点 世界遺産センター、初の特別展

富士宮

富士宮市の県富士山 828年、晴川院養信(1796〜1846年)の「富士三保清見寺図」をはじめ、ふすまの表裏に描かれた栄立宗彦に寄与した狩野派の魅力を迫る。開く第1部は10月14日まで、徳川將軍家御用絵師筆頭の狩野伊川(江戸狩野派の始祖)を編み出した狩野探幽(1602〜1674年)の「富士三保清見寺図」をはじめ、ふすまの表裏に描かれた栄立宗彦に寄与した狩野派の魅力を迫る。開く第1部は10月14日まで、徳川將軍家御用絵師筆頭の狩野伊川(江戸狩野派の始祖)を編み出した狩野探幽(1602〜1674年)の「富士三保清見寺図」をはじめ、ふすまの表裏に描かれた栄立宗彦に寄与した狩野派の魅力を迫る。

狩野晴川院養信による「富士三保松原図」などが並ぶ特別展=21日午後、富士宮市の県富士山世界遺産センター

狩野派の富士山画12点を展示する特別展が、11月25日、富士越龍に光を当てた。観覧料は常設展料を含めて一般700円、70歳以上200円。問い合わせは同センター(電話0544(2)13776)へ。

特別展を担当した同センターの松島仁教授は「これほどの狩野派作品が集う機会はめったにない。初出品も多々ある」と来場を呼び掛ける。23日と11月3日午後1時半から、松島教授による関連の館内イベントを開催。定員45人。申し込み不要で、当日先着順で受け付ける。

第2部は10月20日、11月25日、富士越龍

2018年9月22日 静岡新聞

4-4 来館者アンケート結果

1 概要

来館者の動向、評価等をモニタリングするため、複数回のアンケートを実施した。

2 実施結果

(1) 第一回

・日本語によるアンケート

○来館日 2018年1月29日～2月12日 15日間（平日10日間・土日休日5日間）

○総人数 420人（男191人・女229人）（平日211人・土日休日209人）

・英語によるアンケート

○来館日 2018年5月8日～5月31日 24日間（平日18日間・土日休日6日間）

○総人数 68人（男43人・女25人）

(2) 第二回（日本語・英語によるアンケートを実施）

○来館日 2018年9月20日～11月13日 54日間（平日36日間・土日休日18日間）

○総人数 436人（男202人・女234人）（平日248人・土日休日188人）

○年齢構成

| | 20歳未満 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 第一回 | 15% | 5% | 4% | 9% | 19% | 24% | 24% |
| 第二回 | 17% | 7% | 5% | 10% | 5% | 29% | 28% |

○居住地の区分

| | 外国 | 県外 | 県西部 | 県中部 | 県東部 |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 第一回 | — | 17% | 8% | 28% | 47% |
| 第二回 | 8% | 31% | 13% | 20% | 28% |

・県外の内訳

| | 北海道・東北 | 関東 | 東海 | 北陸甲信 | 関西 | 中国・四国 | 九州 |
|-----|--------|-----|-----|------|-----|-------|----|
| 第一回 | 4% | 48% | 26% | 4% | 7% | 6% | 4% |
| 第二回 | 1% | 53% | 16% | 11% | 13% | 7% | 0% |

県別上位 神奈川25% 東京15% 愛知10% 千葉・福井・山梨・大阪5% 岐阜・兵庫4%

・海外の内訳

| | アジア | 北米 | 欧州 | その他 |
|---------|-----|-----|-----|-----|
| 英語アンケート | 8% | 48% | 41% | 3% |
| 第二回 | 44% | 18% | 26% | 12% |

国別上位 台湾・USA 15% UK 12% 香港・韓国9%

○センターまでの交通手段（複数回答可）

| | 新幹線 | 在来線 | 路線バス | 観光バス | 車 | 徒歩 | 航空機 |
|-----|-----|-----|------|------|-----|----|-----|
| 第一回 | 4% | 10% | 0% | 5% | 74% | 6% | 1% |
| 第二回 | 5% | 10% | 4% | 26% | 47% | 5% | 3% |

○来館回数

| | 初めて | 2回目 | 3回以上 |
|-------|-----|-----|------|
| 第二回のみ | 89% | 8% | 3% |

○センターの認知（複数回答可）

| | 新聞 | 雑誌 | ネット | テレビ | ラジオ | 知人 | その他 |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 第一回 | 28% | 5% | 9% | 31% | 3% | 14% | 9% |
| 第二回 | 19% | 7% | 11% | 28% | 3% | 20% | 12% |

○属性

| | 一人 | 家族 | 友人グループ | 団体 |
|-----|-----|-----|--------|-----|
| 第一回 | 12% | 63% | 19% | 6% |
| 第二回 | 12% | 46% | 15% | 27% |

○県内の宿泊

| | 有 | 無 |
|-----|-----|-----|
| 第一回 | 11% | 89% |
| 第二回 | 24% | 76% |

○展示等に対する評価（第1回で実施）

5点満点で実施（5点－大変良い・4点－良い・3点－普通・2点－物足りない・1点－悪い）

| 展示名 | 平均 | 大変良い(%) | 良い(%) | 普通(%) | 物足りない(%) | 悪い(%) |
|---------|------|---------|-------|-------|----------|-------|
| 登拝する山 | 4.18 | 38.9 | 44.3 | 13.6 | 0.3 | 0.3 |
| 荒ぶる山 | 4.15 | 37.6 | 44.0 | 14.4 | 3.7 | 0.3 |
| 聖なる山 | 4.20 | 39.4 | 44.0 | 13.8 | 2.8 | 0.0 |
| 美しき山 | 4.30 | 46.8 | 37.8 | 13.5 | 2.8 | 0.0 |
| 育む山 | 4.12 | 36.4 | 43.2 | 16.7 | 3.4 | 0.3 |
| 受け継ぐ山 | 4.12 | 36.8 | 41.8 | 18.0 | 3.4 | 0.0 |
| 展望ホール | 4.39 | 56.7 | 28.8 | 11.7 | 2.1 | 0.6 |
| 映像シアター | 4.23 | 53.9 | 24.7 | 13.3 | 6.5 | 1.6 |
| ガイダンス展示 | 3.95 | 29.6 | 44.2 | 19.3 | 6.0 | 1.0 |

4-5 施設管理条例・規則

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

平成29年10月24日

条例第35号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 世界遺産富士山（静岡県世界遺産富士山基本条例（平成27年静岡県条例第31号）第2条第1号に規定する世界遺産富士山をいう。以下同じ。）の有する顕著な普遍的価値（同条第3号に規定する顕著な普遍的価値をいう。）についての県民の理解を深めることにより、当該顕著な普遍的価値を後世に引き継ぐこと及び県民文化の向上に寄与することを目的として、静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）を富士宮市に設置する。

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時まで（7月及び8月にあつては、午前9時から午後6時まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第4条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

- (1) 毎月の第3火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたるときは、その日後においてその日に最も近い日曜日、土曜日又は同法に規定する休日でない日）
- (2) 12月27日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 センターに展示されている世界遺産富士山に関する資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

(特別観覧)

第6条 知事は、センターに収蔵されている世界遺産富士山に関する資料等について学術研究等のため

に必要があると認めるときは、当該資料等の模写、模造、撮影等（以下「特別観覧」という。）をしようとする者に対して、当該特別観覧を承認することができる。

2 前項の規定による承認には、センターの管理のために必要な限度において条件を付することができる。

（特別観覧料）

第7条 特別観覧をしようとする者は、別表第2に定める額の特別観覧料を前納しなければならない。

（観覧料等の減免）

第8条 知事は、特別の理由があるとき、観覧料又は特別観覧料（以下「観覧料等」という。）を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第9条 既納の観覧料等は還付しない。ただし、知事が特別の理由があるとき、この限りでない。

（委任）

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成29年12月23日から施行する。

別表第1（第5条関係）

(1) 常設展示

| 利用区分 | 観覧料 |
|------|------------|
| 個人 | 300円 |
| 団体 | 1人につき 200円 |

備考

- 1 個人とは、満15歳以上の者であって、中学校、高等学校及び大学の在学者並びにこれらに準ずる者以外のものをいう。
- 2 団体とは、20人以上をいう。
- 3 企画展示と常設展示を併せて観覧する場合の常設展示の観覧料は、減免することができる。

(2) 企画展示

1,500円を限度として知事とその都度定める額

別表第2（第7条関係）

| 利用区分 | 特別観覧料 |
|------|----------------|
| 模写 | 1点1日につき 2,000円 |
| 模造 | 1点1日につき 2,000円 |
| 撮影 | 1点1回につき 4,000円 |
| 熟覧 | 1点1日につき 1,000円 |
| 原板使用 | 1点1回につき 3,000円 |

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

平成29年10月24日

規則第41号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例（平成29年静岡県条例第35号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入館時間)

第2条 静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）の入館時間は、午前9時から午後4時30分まで（7月及び8月にあつては午前9時から午後5時30分まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(観覧手続)

第3条 常設展示又は企画展示（以下「常設展示等」という。）を観覧しようとする者は、条例第5条の観覧料（以下「観覧料」という。）を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。ただし、知事が認めた団体については、観覧後に観覧料を納めることができる。

(特別観覧手続)

第4条 条例第6条第1項に規定する特別観覧（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、あらかじめ、様式第1号による特別観覧承認申請書を知事に提出しなければならない。

2 知事は、特別観覧を承認したときは、特別観覧承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

(観覧料等の減免)

第5条 条例第8条の規定による観覧料等（同条に規定する観覧料等をいう。以下同じ。）の減免（以下「観覧料等の減免」という。）は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとし、その減免

する額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下「障害者」という。）が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (2) 障害者が常設展示等を観覧するときに現に付き添って介護を行っている者（障害者1人につき1人に限る。）が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (3) 70歳以上の者が常設展示を観覧するとき 観覧料の全額
 - (4) 70歳以上の者が企画展示を観覧するとき 観覧料の2分の1の額（当該額に100円未満の端数があるときは、これを100円に切り上げた額）
 - (5) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として幼児、児童、生徒、学生等が企画展示を観覧するとき 観覧料の全額
 - (6) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として常設展示等を観覧する幼児、児童、生徒、学生等を引率する者が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (7) その他知事が特別の理由があると認めるとき 知事が別に定める額
- 2 観覧料等の減免を受けようとする者は、あらかじめ、様式第2号による観覧料等減免承認申請書を知事に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、前項第1号から第4号までのいずれかに該当するとき、又は前項第7号に該当する場合であって知事がその必要がないと認めるときは、この限りでない。
- 3 知事は、観覧料等の減免を承認したときは、観覧料等減免承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

（観覧料等の還付）

第6条 条例第9条ただし書の規定による観覧料等の還付は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

- (1) 観覧又は特別観覧をしようとする者の責めに帰することができない理由により観覧又は特別観覧ができなくなったとき。
 - (2) その他知事が必要と認めるとき。
- 2 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧券を知事に提出しなければならない。
- 3 条例第7条の特別観覧料（以下「特別観覧料」という。）の還付を受けようとする者は、様式第3号による特別観覧料還付申請書を知事に提出しなければならない。ただし、第1項第1号に掲げる場合は、この限りでない。

（委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、センターの長が別に定める。

附 則

この規則は、平成29年12月23日から施行する。

静岡県富士山世界遺産センター 年報2017.12－2019.3

2019年9月発行

編集・発行 静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

T E L 0544-21-3776

F A X 0544-23-6800

印 刷 文光堂印刷株式会社



静岡県富士山世界遺産センター